

令和3年度 英語英文学科 専門教育科目 シラバス

科目名	イギリス文学講読Ⅰ British Literature I	単位数	1
	開講学科	英語英文学科（1年前期）	必選区分
担当者	鈴木 辰一	科目区分	演習
授業目的 到達目標	英米文学作品を原書のまま読み、鑑賞する能力を養います。非常に多くの人々に読まれているイギリスの作家であるLewis Carroll（ルイス・キャロル）の作品であるAlice's Adventures in Wonderland（『不思議の国のアリス』）を読むことにより、英語圏の人々と共通の文化的知識を身につけ、英語圏の人々とのコミュニケーションに間接的に役立てられるようにします。		
授業概要	少し長めの文学作品を丁寧に読んでいくことを通じて、イギリス文学作品を原書で鑑賞する力を身につけます。取り上げる作品は、Lewis CarrollのAlice's Adventures in Wonderlandです。初回の授業では、作者について、作品について解説された資料を読み、本作品の背景に対する理解を深めます。2回目以降は1回につき1チャプター（約10ページ）を、事前に配布したワークシートを行う形で読み進めていきます。		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>① ガイダンス・イントロダクション(作者・作品について)</li> <li>② Chapter 1</li> <li>③ Chapter 2</li> <li>④ Chapter 3</li> <li>⑤ Chapter 4</li> <li>⑥ Chapter 5</li> <li>⑦ Chapter 6</li> <li>⑧ Chapter 7</li> <li>⑨ Chapter 8</li> <li>⑩ Chapter 9</li> <li>⑪ Chapter 10</li> <li>⑫ Chapter 11</li> <li>⑬ Chapter 12</li> <li>⑭ 様々な『不思議の国のアリス』について</li> <li>⑮ まとめ・期末レポートについて</li> <li>⑯</li> </ol>		
予復習等	【予習】 授業範囲のテキストを読み、配布されたワークシートを埋めておくこと 【復習】 授業で読み進めたChapterを改めて読み直しておくこと		
評価方法	授業姿勢（30%）、期末レポート（70%）		
履修条件	なし		
教科書	『Alice's Adventures in Wonderland and Through the Looking Glass and What Alice Found There』／著：Lewis Carroll／出版：Oxford University Press		
参考書	初回の授業で提示する。		

科目名	イギリス文学講読Ⅱ British Literature II	単位数	1
	開講学科	英語英文学科（1年後期）	必選区分
担当者	鈴木 辰一	科目区分	演習
授業目的 到達目標	この授業を通して到達すべき目標は3つあります。1つ目は、英米文学作品を原書のまま読み、鑑賞する能力を養うことです。2つ目は、多くの人々に読まれている作品を読むことにより、英語圏の人々と共通の文化的知識を身につけ、コミュニケーションに間接的に役立てられるようにすることです。3つ目は、文学作品の多様な読み方、解釈を試みることにより、複数の視点から物事を眺める力を身につけることです。		
授業概要	イギリスを代表する劇作家であるWilliam Shakespeareの作品をいくつか取り上げ、講読します。メインのテキストとして、子供向けに書かれたCharles LambとMary Lambによる再話物語Tales from Shakespeareを使います。今回取り上げる作品は、Romeo and JulietとThe Merchant of Veniceです。テキストを読み進めると同時に、原作からの抜粋や映像作品の鑑賞を通して作品に対する理解を深めるとともに、様々な視点からの作品解釈、作品表象のあり方を考察します。		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>① ガイダンス・イントロダクション(シェイクスピアとその作品について)</li> <li>② Romeo and Juliet (1)</li> <li>③ Romeo and Juliet (2)</li> <li>④ Romeo and Juliet (3)</li> <li>⑤ Romeo and Juliet (4)</li> <li>⑥ Romeo and Juliet (5)</li> <li>⑦ Romeo and Juliet (6)</li> <li>⑧ Romeo and Juliet (7)</li> <li>⑨ The Merchant of Venice (1)</li> <li>⑩ The Merchant of Venice (2)</li> <li>⑪ The Merchant of Venice (3)</li> <li>⑫ The Merchant of Venice (4)</li> <li>⑬ The Merchant of Venice (5)</li> <li>⑭ The Merchant of Venice (6)</li> <li>⑮ The Merchant of Venice (7)</li> <li>⑯</li> </ol>		
予復習等	【予習】 指定された範囲の英文を読み、予習用ワークシートを埋めてくること 【復習】 授業で読み進めた箇所をもう一度読んで理解を深めておくこと		
評価方法	授業姿勢（20%）、中間課題（30%）、期末レポート（50%）		
履修条件	なし		
教科書	『Tales from Shakespeare』／著：Charles and Mary Lamb／出版：Penguin Classics		
参考書	初回の授業で提示する。		

科目名	アメリカ文学講読Ⅰ American LiteratureⅠ	単位数	1
		必選区分	選択
開講学科	英語英文学科（1年前期）	科目区分	演習
担当者	古東 佐知子	教員区分	非常勤講師
授業目的 到達目標	この授業は、学生がアメリカ文学を学ぶことで、英語の読解力を向上させるのはもちろんのこと、英語が使用される、特にアメリカという場所の文化・歴史背景についても理解できるようになることが目標である。「アメリカ文学講読Ⅰ」では、あまり今までの学びで馴染みがないアメリカ文学というものに触れることで、その奥深さについて考えられるようになることも、目的の一つである。		
授業概要	ピューリタニズムを題材にしたNathaniel Hawthorne, The Scarlet Letter (1850)と、中国系移民の母娘を描いた現代小説Amy Tan, The Joy Luck Club (1989)作品を取りあげる。アメリカ文学の主要作品である2作品の重要箇所を精読することによって、単なる作品の鑑賞にとどまらず、歴史的背景や社会的価値、どのような問題意識で、どのようなテーマが提示されているのかも理解する。またアメリカ文学の主要な作家・文学作品について、グループ発表を行う。		
授業計画	① ガイダンス ② アメリカ文学概観・グループ分け ③ The Scarlet Letter ビデオ鑑賞 ④ The Scarlet Letter 講義・解説 ⑤ The Scarlet Letter 作品講読（1） ⑥ The Scarlet Letter 作品講読（2） ⑦ The Scarlet Letter 作品講読（3） ⑧ The Scarlet Letter 議論・まとめ ⑨ 主要文学作品・作家についてのグループ発表 ⑩ The Joy Luck Club ビデオ鑑賞 ⑪ The Joy Luck Clubとアジア系アメリカ人の文学講義・解説 ⑫ The Joy Luck Club 作品講読（1） ⑬ The Joy Luck Club 作品講読（2） ⑭ The Joy Luck Club 作品講読（3） ⑮ The Joy Luck Club 作品についての議論・解釈 ⑯ 期末レポート		
予復習等	【予習】あらかじめ指定された箇所を読み、宿題プリントを完成させる。 【復習】授業で扱った箇所を再読し、自分なりに考察・解釈する。		
評価方法	期末レポート50% グループ発表20% 課題・授業発表30%		
履修条件	なし		
教科書	井上謙治著『AN OUTLINE OF AMERICAN LITERATURE アメリカ文学概観』南雲堂		
参考書	授業中に指定する。		

科目名	アメリカ文学講読Ⅱ American LiteratureⅡ	単位数	1
		必選区分	選択
開講学科	英語英文学科（1年後期）	科目区分	演習
担当者	本橋 香	教員区分	学内教員
授業目的 到達目標	代表的なアメリカ文学作品を原文の抜粋で読み、人種・階級・ジェンダーにおける多様性がいかに作品世界に表象されているのかを理解する。そしてそれらにひそむ問題と日本に住む我々との関連性を見出し、国際的な視座で自分自身を客観的に見る目を養うことが目標である。アメリカ文学作品の理解を通して、国際社会における問題解決の方法は一つではなく、多くの選択肢の中から自分で判断して取捨選択していくことを確認する。		
授業概要	英文で書かれた作品を読むことによって読解力を向上させる。映像化された作品の一部を鑑賞することでリスニング力も養い、会話のフレーズからスピーキング力も培う。また、毎回、英語で感想文を書くことでライティングの力もつける。英語で書かれた文学作品を読むため、毎回の予習が必要である。担当を決めて、授業内で発表する。期末テストで理解度を確認する。		
授業計画	① ガイダンス 担当決め ② The Last of the Mohicans (James Fenimore Cooper) ③ The Fall of the House of Usher (Edgar Allan Poe) ④ The Scarlet Letter (Nathaniel Hawthorne) ⑤ Moby Dick; or The Whale (Herman Melville) ⑥ Little Women (Louisa May Alcott) ⑦ Washington Square (Henry James) ⑧ Adventures of Huckleberry Finn (Mark Twain) ⑨ Sister Carrie (Theodore Dreiser) ⑩ The Great Gatsby (F.Scott Fitzgerald) ⑪ A Farewell to Arms (Ernest Hemingway) ⑫ Gone with the Wind (Margaret Mitchell) ⑬ Gone with the Wind (Margaret Mitchell) ⑭ The Grapes of Wrath (John Steinbeck) ⑮ 期末テスト		
予復習等	【予習】単語を調べておき、教科書の内容を理解する。 【復習】単語と英語表現を復習する。		
評価方法	期末テスト 70% 発表 20% 授業内課題 10%		
履修条件	なし		
教科書	行方昭夫他 『映画化された英米文学24 そのさわりを読む』 鶴見書店		
参考書	英語の辞書を持参すること。		

科目名	アカデミック・イングリッシュ I Academic English I	単位数	1
		必選区分	選択
開講学科	英語英文学科（1年前期）	科目区分	演習
担当者	コットン ランダル	教員区分	学内教員
授業目的 到達目標	The goal of this course is to help students improve their ability to write paragraphs in English. By examining various types of paragraphs written in English, students will learn how to create paragraphs that are well organized and effective for communicating ideas. Students will also develop necessary editing skills for checking and correcting their compositions.		
授業概要	The course will start with the basics of good paragraph writing (according to Western modes of composition). These skills include learning how to write effective topic sentences and create unified paragraphs that have coherent support. Students will practice these composition skills by writing paragraphs about various topics. In addition, grammar and vocabulary exercises will be done in order to help students improve their overall English ability.		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>① Course orientation</li> <li>② Paragraph form</li> <li>③ Editing your writing</li> <li>④ The writing process</li> <li>⑤ Narrative paragraphs (Part 1)</li> <li>⑥ Narrative paragraphs (Part 2)</li> <li>⑦ Narrative paragraphs (Part 3)</li> <li>⑧ Editing skills</li> <li>⑨ Descriptive paragraphs (Part 1)</li> <li>⑩ Descriptive paragraphs (Part 2)</li> <li>⑪ Descriptive paragraphs (Part 3)</li> <li>⑫ Analyzing reasons (Part 1)</li> <li>⑬ Analyzing reasons (Part 2)</li> <li>⑭ Analyzing reasons (Part 3)</li> <li>⑮ Review</li> <li>⑯ Exam</li> </ol>		
予復習等	【予習】 Study the textbook before coming to class each week. 【復習】 Review the lessons to better remember the material covered in class.		
評価方法	出席状況 30%、提出物・宿題 40%、少テスト・定期試験 30%		
履修条件			
教科書	Developing Composition Skills: Academic Writing and Grammar (3E). Mary K. Ruetten, Heinle Cengage. 2012.		
参考書	和英・英和辞書を持参すること。		

科目名	アカデミック・イングリッシュ II Academic English II	単位数	1
		必選区分	選択
開講学科	英語英文学科（1年後期）	科目区分	演習
担当者	コットン ランダル	教員区分	学内教員
授業目的 到達目標	Paragraph writing will continue to be the main focus of the beginning of the second semester course. Towards the end of the second semester, students will begin learning about how to write short essays. By examining various types of paragraphs written in English, students will learn how to create paragraphs that are well organized and effective for communicating ideas. Students will also develop necessary editing skills for checking and correcting their compositions.		
授業概要	The course will start with the basics of good paragraph writing (according to Western modes of composition). These skills include learning how to write effective topic sentences and create unified paragraphs that have coherent support. Students will practice these composition skills by writing paragraphs about various topics. In addition, grammar and vocabulary exercises will be done in order to help students improve their overall English ability.		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>① Process paragraphs (Part 1)</li> <li>② Process paragraphs (Part 2)</li> <li>③ Process paragraphs (Part 3)</li> <li>④ Editing skills</li> <li>⑤ Comparison and contrast paragraphs (Part 1)</li> <li>⑥ Comparison and contrast paragraphs (Part 2)</li> <li>⑦ Comparison and contrast paragraphs (Part 3)</li> <li>⑧ Editing skills</li> <li>⑨ Classification paragraphs (Part 1)</li> <li>⑩ Classification paragraphs (Part 2)</li> <li>⑪ Classification paragraphs (Part 3)</li> <li>⑫ Introduction to essay writing (Part 1)</li> <li>⑬ Introduction to essay writing (Part 2)</li> <li>⑭ Introduction to essay writing (Part 3)</li> <li>⑮ Review</li> <li>⑯ Exam</li> </ol>		
予復習等	【予習】 Study the textbook before coming to class each week. 【復習】 Review the lessons to better remember the material covered in class.		
評価方法	出席状況 30%、提出物・宿題 40%、少テスト・定期試験 30%		
履修条件	「アカデミック・イングリッシュI」を受講をすること。		
教科書	Developing Composition Skills: Academic Writing and Grammar (3E). Mary K. Ruetten, Heinle Cengage. 2012.		
参考書	和英・英和辞書を持参すること。		

科目名	イギリス文学史 History of British Literature	単位数	2
		必選区分	選択
開講学科	英語英文学科（2年前期）	科目区分	講義
担当者	鈴木 辰一	教員区分	学内教員
授業目的 到達目標	古英語時代～現代にいたるイギリス文学の歴史を概観することによって、イギリス文学を研究する上で最低限知っておくべき知識を得ることを目的とします。現代も広く読まれている作家とその作品についての知識を得ることにより、英語圏（特にイギリス）の人々と共通の文化的な知識を身につけ、コミュニケーションを取る際に間接的に役立てられるようにします。		
授業概要	上の到達目標を達成すべく、この授業では古英語の時代から現代に至るまでのイギリス文学の歴史を概観します。授業では、各時代の時代背景や代表的な作家の作品とその特徴などについての講義を行います。時間の許す限り、実際に文学作品の抜粋を読みながら具体的な形で知識を身につけていきます。また、授業外の課題として、3冊以上の文学作品を読み、その概要などをBook Reportとしてまとめて提出することを課します。		
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>① ガイダンス・「文学（史）」とは何か</li> <li>② 古英語～中英語時代のイギリス文学</li> <li>③ 16世紀のイギリス文学（詩・散文）</li> <li>④ 16世紀～17世紀初頭のイギリス文学（演劇）</li> <li>⑤ 17世紀初頭のイギリス文学（演劇、詩）</li> <li>⑥ 17世紀半ば～18世紀初頭のイギリス文学（詩）</li> <li>⑦ 18世紀半ば～19世紀初頭のイギリス文学（詩・小説）</li> <li>⑧ 18世紀後半～19世紀初頭のイギリス文学（ロマン主義）</li> <li>⑨ 19世紀前半のイギリス文学（ロマン主義②）</li> <li>⑩ 19世紀半ば～19世紀後半のイギリス文学（詩）</li> <li>⑪ 19世紀半ば～19世紀後半のイギリス文学（小説）</li> <li>⑫ 19世紀末～20世紀初頭のイギリス文学（小説）</li> <li>⑬ 20世紀前半のイギリス文学（小説）</li> <li>⑭ 20世紀半ば～現代のイギリス文学</li> <li>⑮ まとめ</li> <li>⑯</li> </ul>		
予復習等	【予習】 授業で扱う章（教科書）に目を通してから授業に臨むこと 【復習】 授業で触れた時代・作家について、文学史の本などを読むこと		
評価方法	授業姿勢（20%）、課題（20%）、Book Report（60%）		
履修条件	なし		
教科書	『An Outline of English Literature』／著：相島倫嘉／出版：南雲堂		
参考書	初回の授業で提示する。		

科目名	イギリス文化論 British Studies	単位数	2
		必選区分	選択
開講学科	英語英文学科（2年後期）	科目区分	講義
担当者	鈴木 辰一	教員区分	学内教員
授業目的 到達目標	イギリス文化の様々な側面を学び、イギリスのことを研究する上で必要な最低限の知識を得ることを目的とします。イギリス文化という異文化理解を深めることを通じて、異文化を排除しようとするのではなく、異文化を積極的に、肯定的に受け入れる姿勢を身につけます。また、イギリスの人々の我々とは異なる価値観や考え方を学び、国際的な視野を持った人間になることを目標とします。		
授業概要	イギリス社会、イギリス文化を概観します。毎回の授業では、キーとなるトピックを一つ取り上げ、該当する箇所の講義を行います。扱うトピックは、「政治・宗教・教育」など以下の授業計画に記載されているトピックです。予習を前提として授業を進めていきますので、指定された箇所をあらかじめ読んでおくことが求められます。また、各週で話題になっているイギリスに関するニュースなどにも触れ、現在のイギリスをめぐる状況を理解していきます。		
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>① ガイダンス／イギリスについて</li> <li>② 王室について</li> <li>③ 政治について</li> <li>④ 宗教について</li> <li>⑤ 初等・中等教育について</li> <li>⑥ 高等教育について</li> <li>⑦ ジャーナリズムについて</li> <li>⑧ 大英博物館について</li> <li>⑨ シェイクスピアについて</li> <li>⑩ 児童文学について</li> <li>⑪ 音楽について</li> <li>⑫ 食生活について</li> <li>⑬ スポーツについて</li> <li>⑭ 世界におけるイギリスについて</li> <li>⑮ まとめ</li> <li>⑯</li> </ul>		
予復習等	【予習】 授業で扱う章を事前に読み、配布したプリントの穴埋めをしていくこと 【復習】 参考文献などを読み、授業の内容に関する理解を深めておくこと		
評価方法	授業姿勢（30%）、期末レポート（70%）		
履修条件	なし		
教科書	『On Britain: An Introduction』／著：Adrian J. Pinnington／出版：開文社		
参考書	初回の授業で提示する。		

科目名	英語学概論 I	単位数	2
	English Linguistics I	必選区分	選択
開講学科	英語英文学科（1年前期）	科目区分	講義
担当者	森藤 庄平	教員区分	学内教員
授業目的 到達目標	<p>本講義の目的：①言語を科学的分析ができるよう発見・思考・応用力を鍛える。 ②英語学を学ぶことによって、英文法を無味乾燥な規則の寄せ集めとしてではなく、「英語のしくみ」を探り、「暗記の文法」から「理解の文法」への橋渡しを行うことによって、英語力を身につける。</p>		
授業概要	<p>本授業の概要：①「英語学」のうち、英語史・形態論：統語論・意味論を基礎として英語の仕組みを探る。②言語を科学的分析ができるよう発見・思考・応用力を鍛える。③英語学（英語の理論）を学ぶことによって、さらなる英語力が身につくように指導する。④英語による論文や教材の講読を含んだ授業を行う。</p>		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>① ガイダンス</li> <li>② Why Study English Linguistics (1)</li> <li>③ Why Study English Linguistics(2)</li> <li>④ How English Has Changed over the Centuries (1)</li> <li>⑤ How English Has Changed over the Centuries(2)</li> <li>⑥ How Words Are Made: Morphology (1)</li> <li>⑦ How Words Are Made: Morphology (2)</li> <li>⑧ How Words Mean: Semantics I (1)</li> <li>⑨ How Words Mean: Semantics I (2)</li> <li>⑩ How English Phrases Are Formed: Syntax I (1)</li> <li>⑪ How English Phrases Are Formed: Syntax I (2)</li> <li>⑫ How English Phrases Are Formed: Syntax II (1)</li> <li>⑬ How English Phrases Are Formed: Syntax II (2)</li> <li>⑭ How Sentences Mean: Semantics II (1)</li> <li>⑮ How Sentences Mean: Semantics II (2)</li> <li>⑯ 定期試験</li> </ol>		
予復習等	<p>【予習】分からない所を明確にし質問ができるようにする。練習問題を解いておく。 【復習】授業の中で、質問などで理解したことをまとめ、予習した練習問題を添削する。 ・以上の過程を、各回レポートで提出すること。</p>		
評価方法	<p>授業への参加(授業参加度・発言(質疑応答など)・レポート・小テスト)40%、期末試験60%</p>		
履修条件	<p>学修規定による。真実な受講態度で授業に臨むこと。私語は厳禁とする</p>		
教科書	<p>『First Steps in English Linguistics』影山太郎他著、くろしお出版</p>		
参考書	<p>授業の中で指定する。</p>		

科目名	英語学概論 I	単位数	2
	English Linguistics I	必選区分	選択
開講学科	英語英文学科（2年前期）	科目区分	講義
担当者	大澤 聡子	教員区分	学内教員
授業目的 到達目標	<p>全ての人間言語は規則と構造をもつ。英語学とは英語という言語がどのような規則と構造でできているのか、その仕組みを明らかにする分野である。本授業では英語の音、単語、文について、その仕組みを学修し、英語という言語の特徴を理解することを目的とする。英語の言語学的な知識を身につけることで、英語に対する理解を深め、英語運用能力の向上につなげることを目標とする。</p>		
授業概要	<p>本授業では、英語の音、単語、文について、それぞれ音韻論、形態論、統語論という各論において、英語の言語学的な特徴を学修する。授業で紹介される多くの例と分析から、言語が理路整然とした体系をもち、規則に従って特定の構造を形成していることを理解する。言語学的知識は英語運用能力の向上に直接結びつくことを意識しながら学ぶ。英語は日本語とは多くの面に対立的な言語であるため、英語をより深く理解するためには、母国語である日本語との対照が役立つ。授業では英語の特徴を際立たせ、より深い理解へつなげるため、日本語と比較対照することがある。受講者は自身の母国語の直感を活かし、言語分析の問題解決プロセスに積極的に参加することが求められる。</p>		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>① ガイダンス</li> <li>② 音韻論(1)</li> <li>③ 音韻論(2)</li> <li>④ 音韻論(3)</li> <li>⑤ 形態論(1)</li> <li>⑥ 形態論(2)</li> <li>⑦ 形態論(3)</li> <li>⑧ 統語論(1)</li> <li>⑨ 統語論(2)</li> <li>⑩ 統語論(3)</li> <li>⑪ 統語論(4)</li> <li>⑫ 機能的構文論(1)</li> <li>⑬ 機能的構文論(2)</li> <li>⑭ 機能的構文論(3)</li> <li>⑮ まとめ</li> <li>⑯ 定期試験</li> </ol>		
予復習等	<p>【予習】テキストの授業範囲を読み、疑問点をまとめておく。 【復習】重要事項をまとめる。</p>		
評価方法	<p>出席状況・授業態度20%、定期試験80%</p>		
履修条件	<p>なし</p>		
教科書	<p>『日英対照 英語学の基礎』／編著：三原健一、高見健一／出版：くろしお出版</p>		
参考書	<p>授業で指示する。</p>		

科目名	英語学概論Ⅱ	単位数	2
	English Linguistics II	必選区分	選択
開講学科	英語英文学科（1年後期）	科目区分	講義
担当者	森藤 庄平	教員区分	学内教員
授業目的 到達目標	<p>本講義の目的：①言語を科学的分析ができるよう発見・思考・応用力を鍛える。 ②英語学を学ぶことによって、英文法を無味乾燥な規則の寄せ集めとしてではなく、「英語のしくみ」を探り、「暗記の文法」から「理解の文法」への橋渡しを行うことによって、英語力を身につける。</p>		
授業概要	<p>本授業の概要：①「英語学」のうち、語用論・音韻論/音声学・社会言語学・心理言語学・応用言語学を基礎として英語の仕組みを探る。②言語を科学的分析ができるよう発見・思考・応用力を鍛える。③英語学（英語の理論）を学ぶことによって、さらなる英語力が身につくように指導する。④英語による論文や教材の講読を含んだ授業を行う。</p>		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>① ガイダンス</li> <li>② How to Communicate with Other People (1)</li> <li>③ How to Communicate with Other People (2)</li> <li>④ The Sound of English: Phonetics and Phonology (1)</li> <li>⑤ The Sound of English: Phonetics and Phonology (2)</li> <li>⑥ Regional Varieties of English: Social linguistics I (1)</li> <li>⑦ Regional Varieties of English: Social linguistics I (2)</li> <li>⑧ English in Society: Social Linguistics II (1)</li> <li>⑨ English in Society: Social Linguistics II (2)</li> <li>⑩ How English is Acquired: Psycholinguistics (1)</li> <li>⑪ How English is Acquired: Psycholinguistics (2)</li> <li>⑫ How English as a Second/Foreign Language is Acquired: Applied Linguistics (1)</li> <li>⑬ How English as a Second/Foreign Language is Acquired: Applied Linguistics (2)</li> <li>⑭ まとめ (1)</li> <li>⑮ まとめ (2)</li> <li>⑯ 定期試験</li> </ol>		
予復習等	<p>【予習】分からない所を明確にし質問ができるようにする。練習問題を解いておく。 【復習】授業の中で、質問などで理解したことをまとめ、予習した練習問題を添削する。 ・以上の過程を、各回レポートで提出すること。</p>		
評価方法	授業への参加(授業参加度・発言(質疑応答など)・レポート・小テスト)40%、期末試験60%		
履修条件	学修規定による。真実な受講態度で授業に臨むこと。私語は厳禁とする。		
教科書	『First Steps in English Linguistics』影山太郎他著、くろしお出版		
参考書	授業の中で指定する。		

科目名	英語学概論Ⅱ	単位数	2
	English Linguistics II	必選区分	選択
開講学科	英語英文学科（2年後期）	科目区分	講義
担当者	大澤 聡子	教員区分	学内教員
授業目的 到達目標	<p>全ての人間言語は規則と構造をもつ。英語学とは英語という言語がどのような規則と構造でできているのか、その仕組みを明らかにする分野である。本授業では意味と言語運用に関わる分野、英語史、英語構文研究を扱い、英語という言語の特徴を理解することを目的とする。英語の言語学的な知識を身につけることで、英語に対する理解を深め、英語運用能力の向上につなげることを目標とする。</p>		
授業概要	<p>本授業では、意味と言語運用に関わる分野、英語史について学修し、英語の言語学的な特徴を理解する。また、高校までの英文法では詳しく扱わない構文を取り上げ、それぞれの構文がもつ本質的な意味を考える。英文法を単なる文法用語や形式の暗記として捉えるのではなく、その本質的な機能を深く考察することが求められる。深い言語学的知識は英語の運用能力の向上に直接結びつくことを意識しながら学ぶ。</p>		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>① ガイダンス</li> <li>② 語彙意味論(1)</li> <li>③ 語彙意味論(2)</li> <li>④ 認知意味論(1)</li> <li>⑤ 認知意味論(2)</li> <li>⑥ 語用論(1)</li> <li>⑦ 語用論(2)</li> <li>⑧ 語用論(3)</li> <li>⑨ 英語史(1)</li> <li>⑩ 英語史(2)</li> <li>⑪ 英語史(3)</li> <li>⑫ 世界の英語</li> <li>⑬ 構文研究(1)</li> <li>⑭ 構文研究(2)</li> <li>⑮ まとめ</li> <li>⑯ 定期試験</li> </ol>		
予復習等	<p>【予習】テキストの授業範囲を読み、疑問点をまとめておく。 【復習】重要事項をまとめる。</p>		
評価方法	出席状況・授業態度20%、定期試験80%		
履修条件	なし		
教科書	『日英対照 英語学の基礎』／編著：三原健一、高見健一／出版：くろしお出版		
参考書	授業で指示する。		

科目名	英語圏社会と文化 Anglophone Society and Culture	単位数	2
		必選区分	選択
開講学科	英語英文学科（2年後期）	科目区分	講義
担当者	本橋 香	教員区分	学内教員
授業目的 到達目標	アメリカ南部の奴隷制を軸として、英語圏社会にはびこっていた西欧中心主義的なものの見方を考察する。特に、自由と民主主義を標榜してきたアメリカがいかに関与してきたのかを学び、問題意識を共有できるようになることが目的である。第二次世界大戦後の豊かな時代を経て、公民権運動、フェミニズム運動、学生運動など1960年代に次々とアメリカに対抗文化の波が押し寄せた。それらの歴史的経緯を理解し、マイノリティの視点を取り入れて多角的観点からアメリカ史を考察できるようになることが目標である。		
授業概要	教科書の中から興味あるテーマについて調べて、自分の言葉でレポートにまとめることが最も重要な課題である。その前作業として、興味あるテーマを決め、それについて調べた内容を発表・ディスカッションし、論旨の方向性が妥当かどうかを問う。また、各授業で意見を書いたり述べている課題も課す。これらの課題を通して、多様性を尊重する社会とはどのようなことを意味するのか、さらにはアメリカと日本に通底する問題をあぶり出し、現代社会における問題を解決する糸口を探る。		
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>① ガイダンス、興味あるテーマについて考える</li> <li>② 1950年代のアメリカ政治と公民権運動</li> <li>③ 経済成長と不平等</li> <li>④ アブラハム・マスローと、アメリカにおける人間主義心理学の興隆</li> <li>⑤ ユニバーサル・エデュケーションと自己実現</li> <li>⑥ アメリカのことばと社会事情</li> <li>⑦ ハワイ日系人の自己実現と言語アメリカ化</li> <li>⑧ 興味あるテーマを決定し、それについて調べ、レポートに着手する</li> <li>⑨ 断絶と断片の世界</li> <li>⑩ バーナード・マラマッドの作品における弱者と自己実現</li> <li>⑪ ウサギの自己実現とアメリカ社会</li> <li>⑫ C・イーストウッドの映画におけるマイノリティ</li> <li>⑬ 弱者の論理、強者の覇権争い</li> <li>⑭ 美術と女性</li> <li>⑮ アメリカの宗教</li> <li>⑯ 期末試験</li> </ul>		
予復習等	<p>【予習】教科書を読んで、分からないところを調べておく。</p> <p>【復習】興味のあるところを深く調べ、参考文献を読み、自分の意見をまとめる。</p>		
評価方法	期末レポート 50% 発表 30% 課題 20%		
履修条件	なし		
教科書	町田哲司他『アメリカン・スタディーズ入門－自己実現でみるアメリカ』萌書房		
参考書	なし		

科目名	現代アメリカ事情 Contemporary American Studies	単位数	2
		必選区分	選択
開講学科	英語英文学科（2年前期）	科目区分	講義
担当者	古東 佐知子	教員区分	非常勤講師
授業目的 到達目標	現代のアメリカを理解するために、アメリカの文化事情を取りあげながら、「表面的なアメリカ」ではなく、その裏にある文化背景やアメリカの思想について理解できるようにする。そうすることにより、単に英語力をつけるだけにとどまらず、幅広く深い教養も身に付け、アメリカや英語圏世界のことを理解できるようになることが目標である。		
授業概要	アメリカの映画やドキュメンタリー、最新のニュース映像などを通して、現代のアメリカが抱える問題や社会事情を垣間見る。具体的には公民権運動、黒人たちの文化運動、アメリカの女性運動などに関する映像、書物などを取りあげ、その裏にある文化背景やアメリカの根底にある思想について考える。また、出来るだけ『現代のアメリカ』に触れられるよう、ニュースや映画、歴史的資料など加工されていない生きた英語を読解する力も付ける。		
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>① ガイダンス</li> <li>② 9. 11 テロとアメリカ</li> <li>③ アメリカの地域性と地域文学</li> <li>④ アメリカの移民とNew Yorkの変遷</li> <li>⑤ 大統領選挙－黒人大統領の誕生</li> <li>⑥ 都市のゲットー、ギャング映画、黒人民族主義</li> <li>⑦ アメリカの女性運動</li> <li>⑧ Jazzの時代の黒人文化</li> <li>⑨ 公民権運動とその余波</li> <li>⑩ ディアスポラについて</li> <li>⑪ 日本とアメリカ アメリカ側から</li> <li>⑫ 日本とアメリカ 日本側から</li> <li>⑬ アメリカ黒人女性性と表象の問題について</li> <li>⑭ グローバル化の中のアメリカ</li> <li>⑮ まとめ</li> <li>⑯ レポート提出</li> </ul>		
予復習等	<p>【予習】授業で配布された資料の指定された箇所の英語を読んで解釈する。</p> <p>【復習】授業後、Reviewを提出するので、その下書き等準備をしておく。</p>		
評価方法	レポート50%	Review 30%	授業参加20%
履修条件	なし		
教科書	なし		
参考書	授業中に指定する。		

科目名	英語教育学概論 English Language and Education Studies	単位数	2
		必選区分	選択
開講学科	英語英文学科（2年前期）	科目区分	講義
担当者	小島 ますみ	教員区分	学内教員
授業目的 到達目標	本概論では、第二言語習得研究や英語教育学分野の諸議論を概観し、外国語の習得についての理解を深めるとともに、自らの英語学習へ応用できる力を養うことを目的とする。到達目標は以下である。1) 英語教育に関する現代的な諸議論を理解し、自ら論理的・批判的に考えることができる、2) 自分の意見を英語で表明し、議論する力をつける、3) 日本人としてどのように英語に向き合うべきなのか考察し、主体的に英語学習に向き合うことができる。		
授業概要	本概論では、第二言語習得研究や英語教育学分野の諸議論を概観し、外国語の習得についての理解を深めるとともに、一般的な言語習得に関する諸説を批判的に考察する。授業では、英語教育に関連したテーマでの英語ディベートや、受講生による模擬授業等を行うなど、実践的に展開する。ディベートのテーマは、最近の英語教育改革に基づき、小学校英語教育の拡大についてと、大学入試民間4技能試験についてとする。また、同テーマでの英文エッセイ・ライティングを課題として課す。		
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>① ガイダンス・日本人と英語</li> <li>② 母語の影響と言語習得</li> <li>③ 年齢と言語習得</li> <li>④ 動機づけと言語習得</li> <li>⑤ 学習者要因と言語習得</li> <li>⑥ ディベート1：小学校英語教育について</li> <li>⑦ パイリンガル教育について</li> <li>⑧ 日本の学校英語教育</li> <li>⑨ グローバル化と世界の英語政策</li> <li>⑩ ディベート2：大学入試英語4技能試験について</li> <li>⑪ さまざまな教授法 1</li> <li>⑫ さまざまな教授法 2</li> <li>⑬ 模擬授業準備</li> <li>⑭ 受講生による模擬授業 1</li> <li>⑮ 受講生による模擬授業 2</li> <li>⑯ 期末試験</li> </ul>		
予復習等	【予習】ディベートのテーマについて、新聞・本などで調査する。模擬授業の準備をする。 【復習】ディベートのテーマについて、レポートを仕上げる。		
評価方法	出席状況・授業態度 30%、英語ディベート30%、模擬授業15%、期末試験25%		
履修条件	なし		
教科書	資料を配布する		
参考書	『学校英語教育は何のため？』 江利川春雄ほか、ひつじ書房		

科目名	英語コミュニケーション研究 I Seminar in Communication Studies I	単位数	2
		必選区分	選択
開講学科	英語英文学科（2年前期）	科目区分	演習
担当者	大澤 聡子	教員区分	学内教員
授業目的 到達目標	コミュニケーションの多くは「ことば」を媒介として行われる。したがって、「ことば」を深く理解することがコミュニケーションの理解につながる。「英語コミュニケーションI」では、英語という言語について言語学的見地から深く考え、観察力、洞察力、論理的思考力を養うことを目的とする。①代表的な英語構文について先行研究を読み、論理的に説明できること、②言語学的な知見が英語コミュニケーションに有益であることを理解すること、③研究テーマを設定することを到達目標とする。		
授業概要	英語学で扱われる代表的な英語構文について先行研究を読み、説明できるようにする。特に、高校までの学校文法では十分説明されていない文法現象や構文について、英語や日本語で書かれた解説や論文を読み、理解したことを論理的に説明する。論文の読解から言語学的な分析方法を理解し、観察力、洞察力、論理的思考力を養う。英語学で得た知見が英語コミュニケーションに役立つことを理解し、自身の英語コミュニケーション能力に有益となる研究テーマを主体的に設定する。		
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>① ガイダンス</li> <li>② 文献の読解(1)</li> <li>③ 文献の読解(2)</li> <li>④ 文献の読解(3)</li> <li>⑤ 文献の読解(4)</li> <li>⑥ 文献の読解(5)</li> <li>⑦ 文献の読解(6)</li> <li>⑧ 文献の読解(7)</li> <li>⑨ 文献の読解(8)</li> <li>⑩ 文献の読解(9)</li> <li>⑪ 文献の読解(10)</li> <li>⑫ 文献の読解(11)</li> <li>⑬ 文献の読解(12)</li> <li>⑭ 卒論準備(1)</li> <li>⑮ 卒論準備(2)</li> <li>⑯ 卒論準備(3)</li> </ul>		
予復習等	【予習】指定された課題を読み込み、疑問点をまとめる。課題発表の準備をする。 【復習】重要事項をまとめる。研究テーマを考える。		
評価方法	出席状況・授業態度50%、発表：50%		
履修条件	「英語学概論I」を受講することが望ましい。		
教科書	なし。プリント配布。		
参考書	授業で指示する。		

科目名	英語コミュニケーション研究Ⅱ Seminar in Communication Studies Ⅱ	単位数	2
		必選区分	選択
開講学科	英語英文学科（2年後期）	科目区分	演習
担当者	大澤 聡子	教員区分	学内教員
授業目的 到達目標	「英語コミュニケーション研究Ⅰ」では、英語についての言語学的知見が英語コミュニケーションにとって有益であることを学んだ。「英語コミュニケーション研究Ⅱ」では、主体的に選んだ研究テーマについて深く考え、観察力、洞察力、論理的思考力を身につけることを目的とする。①各自が選んだテーマについて文献調査を行い、先行研究について発表できること、②得られた言語学的知見が英語コミュニケーションにどのように反映できるか分析し、提案すること、③卒業論文として仕上げることを到達目標とする。		
授業概要	各自が英語コミュニケーション能力に有益となるよう選んだ研究テーマについて文献を調査し、先行研究を分かりやすくまとめて発表する。受講者は積極的に質問し、活発な議論を展開することが求められる。発表と議論をとおして、研究テーマへの理解を深める。次に、得られた言語学的知見が英語コミュニケーションにどのように反映できるか分析し、提案を考える。論文作成指導を受け、論文を仕上げ、卒論発表を行う。		
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>① ガイダンス</li> <li>② 文献研究(1)</li> <li>③ 文献研究(2)</li> <li>④ 文献研究(3)</li> <li>⑤ 文献研究(4)</li> <li>⑥ 文献研究(5)</li> <li>⑦ 文献研究(6)</li> <li>⑧ 文献研究(7)</li> <li>⑨ 文献研究(8)</li> <li>⑩ 論文作成指導(1)</li> <li>⑪ 論文作成指導(2)</li> <li>⑫ 論文作成指導(3)</li> <li>⑬ 論文作成指導(4)</li> <li>⑭ 論文作成指導(5)</li> <li>⑮ 論文の完成</li> <li>⑯ 論文発表会</li> </ul>		
予復習等	【予習】各自の研究テーマの文献を読み込み、発表の準備をする。 【復習】研究テーマへの理解を深め、卒業論文の執筆を進める。		
評価方法	出席状況・授業態度40%、発表：30%、卒業論文：30%		
履修条件	「英語学概論Ⅱ」を受講することが望ましい。		
教科書	なし。プリント配布。		
参考書	授業で指示する。		

科目名	アメリカ文学研究Ⅰ Seminar in American Literature Ⅰ	単位数	2
		必選区分	選択
開講学科	英語英文学科（2年前期）	科目区分	演習
担当者	鈴木 辰一	教員区分	
授業目的 到達目標	アメリカ文学・文化に関する学術論文を書くために必須のリサーチスキルの習得を目指します。アメリカ文学を研究をするステップを踏んでいくことを通じて、社会に出て生きていく上で必須である、解決すべき問題点を自分の力で見つけ、解決し、それを分かりやすく論理的に、説得力を持って相手に伝える力の習得を目指していきます。また、英語を用いた地域活動も積極的に行い、岐阜の魅力を英語で語るができるようになることも目指します。		
授業概要	アメリカ文学研究Ⅰ・Ⅱを通じて、リサーチを実践し、卒業論文を執筆していただきます。アメリカ文学研究Ⅰでは論文のテーマ(アメリカ文学・文化に関することであれば何でも構いません)を決め、その内容の大まかなアウトラインを決定するとともに、文学研究に必須のリサーチスキルの習得を目指します。毎回の授業では、前半の時間を使い、卒業論文テーマとその内容を決めていくために必須のステップ(テーマの決め方、文献検索の仕方、学術論文の読み方、原稿の書き方など)についての説明を行います。後半の時間を使い、皆さんにリサーチを実践していただきます。発表・発言する機会を多く設けますので、皆さんの積極的な参加を期待しています。また、月に1回ほどのペースで学外へ出かけ、英語を活用した地域活動を行います。		
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>① ガイダンス・イントロダクション</li> <li>② 文学研究とは①</li> <li>③ 研究トピック</li> <li>④ トピックについての基礎知識①</li> <li>⑤ トピックについての基礎知識②</li> <li>⑥ 情報収集・文献検索①</li> <li>⑦ 情報収集・文献検索②</li> <li>⑧ 先行研究調査①</li> <li>⑨ 先行研究調査②</li> <li>⑩ 先行研究調査③</li> <li>⑪ 先行研究調査④</li> <li>⑫ 研究テーマ・アウトライン</li> <li>⑬ 研究計画書の作成について</li> <li>⑭ 研究計画発表①</li> <li>⑮ 研究計画発表②</li> <li>⑯</li> </ul>		
予復習等	【予習】授業で指示された資料にあらかじめ目を通しておくこと 【復習】授業で指示された課題を行い、次回の授業発言できるように準備すること		
評価方法	授業姿勢（10%）、発表・授業課題など（50%）、研究計画書（40%）		
履修条件	なし		
教科書	なし。資料を配布する。		
参考書	初回の授業で提示する。		

科目名	アメリカ文学研究Ⅱ	単位数	2
	Seminar in American Literature Ⅱ	必選区分	選択
開講学科	英語英文学科（2年後期）	科目区分	演習
担当者	本橋 香	教員区分	本学教員
授業目的 到達目標	アメリカ文学に関するテーマで研究を行い、卒業論文の執筆をする。学術論文を書くのに必要な知識や卒論の形式を理解し、聞いている人に分かりやすく伝えるプレゼンテーションの技術習得を目指す。これらの課題に取り組むことで、多くの情報から必要なものを選び出し、自分の意見をまとめる方法を身につけ、卒業後も社会の問題に自分なりに対処できる技術を習得することを目標とする。		
授業概要	アメリカ文学の原書を担当を決めて読み進めると同時に、卒論の執筆、発表を行う。初回の授業で担当の順番を決める。毎回、担当者はハンドアウトを作成し、概要やリサーチしたことを発表する。また、卒業論文のテーマを決め、最終的には執筆した卒論をハンドアウトとパワーポイントを用いて発表し、お互いに講評し合う。原書講読と卒論執筆を同時並行で進めるため、英文のテキストをあらかじめ読んでおくことやライティング課題の提出など、授業外学修が必須になる。		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>① ガイダンス 次週以降の担当決め</li> <li>② レジュメの作成方法を確認</li> <li>③ 原書講読と解釈（1）</li> <li>④ 原書講読と解釈（2）</li> <li>⑤ 原書講読と解釈（3）</li> <li>⑥ 原書講読と解釈（4）</li> <li>⑦ 原書講読と解釈（5）</li> <li>⑧ 原書講読、参考文献の書き方</li> <li>⑨ 原書講読、卒論作成（1）</li> <li>⑩ 原書講読、卒論作成（2）</li> <li>⑪ 原書講読、卒論作成（3）</li> <li>⑫ 卒論中間発表</li> <li>⑬ 卒論作成、ハンドアウト作成</li> <li>⑭ 卒論発表</li> <li>⑮ 卒論の講評</li> </ol>		
予復習等	<p>【予習】 毎回、指定された担当箇所についての解釈を発表する。</p> <p>【復習】 興味のあるテーマをリサーチして、自分の意見をまとめて、卒論を執筆・提出する。</p>		
評価方法	論文 50% 授業内課題 30% 発表 20%		
履修条件	なし		
教科書	プリントを配布		
参考書	なし		

科目名	イギリス文学研究Ⅰ	単位数	2
	Seminar in British Literature Ⅰ	必選区分	選択
開講学科	英語英文学科（2年前期）	科目区分	演習
担当者	鈴木 辰一	教員区分	学内教員
授業目的 到達目標	イギリス文学・文化に関する学術論文を書くために必須のリサーチスキルの習得を目指します。イギリス文学を研究するステップを踏んでいくことを通じて、社会に出て生きていく上で必須である、解決すべき問題点を自分の力で見つけ、解決し、それを分かりやすく論理的に、説得力を持って相手に伝える力の習得を目指していきます。また、英語を用いた地域活動も積極的に行い、岐阜の魅力を英語で語るができるようになることも目指します。		
授業概要	イギリス文学研究Ⅰ・Ⅱを通じて、リサーチを実践し、卒業論文を執筆していただきます。イギリス文学研究Ⅰでは論文のテーマ(イギリス文学・文化に関することであれば何でも構いません)を決め、その内容の大まかなアウトラインを決定するとともに、文学研究に必須のリサーチスキルの習得を目指します。毎回の授業では、前半の時間を使い、卒業論文テーマとその内容を決めていくために必須のステップ(テーマの決め方、文献検索の仕方、学術論文の読み方、原稿の書き方など)についての説明を行います。後半の時間を使い、皆さんにリサーチを実践していただきます。発表・発言する機会を多く設けますので、皆さんの積極的な参加を期待しています。また、月に1回ほどのペースで学外へ出かけ、英語を活用した地域活動を行います。		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>① ガイダンス・イントロダクション</li> <li>② 文学研究とは①</li> <li>③ 研究トピック</li> <li>④ トピックについての基礎知識①</li> <li>⑤ トピックについての基礎知識②</li> <li>⑥ 情報収集・文献検索①</li> <li>⑦ 情報収集・文献検索②</li> <li>⑧ 先行研究調査①</li> <li>⑨ 先行研究調査②</li> <li>⑩ 先行研究調査③</li> <li>⑪ 先行研究調査④</li> <li>⑫ 研究テーマ・アウトライン</li> <li>⑬ 研究計画書の作成について</li> <li>⑭ 研究計画発表①</li> <li>⑮ 研究計画発表②</li> <li>⑯</li> </ol>		
予復習等	<p>【予習】 授業で指示された資料にあらかじめ目を通しておくこと</p> <p>【復習】 授業で指示された課題を行い、次回の授業発言できるように準備すること</p>		
評価方法	授業姿勢（10%）、発表・授業課題など（50%）、研究計画書（40%）		
履修条件	なし		
教科書	なし。資料を配布する。		
参考書	初回の授業で提示する。		

科目名	イギリス文学研究Ⅱ Seminar in British Literature Ⅱ	単位数	2
		必選区分	選択
開講学科	英語英文学科（2年後期）	科目区分	演習
担当者	鈴木 辰一	教員区分	学内教員
授業目的 到達目標	卒業論文の完成を目指してリサーチを進めることによって、論理的思考力、課題解決能力の習得を目指します。イギリス文学・文化に関する学術論文を書くステップを踏んでいくことを通じて、社会に出て生きていく上で必須である、解決すべき問題点とその解決法を自分で見つけ、それを分かりやすく論理的に、説得力を持って相手に伝える力を習得します。		
授業概要	前期に決めた論文のテーマとアウトラインをもとに、論文の執筆を進めていきます。授業は、受講者による研究経過発表が主体となります。また、学術論文を書く上で知っておかなければならないことについての説明も行います。最終的に6, 0 0 0字程度(英語の場合は2, 5 0 0語程度)の卒業論文を完成させることを目標とします。また、卒業制作として、英語を活用した地域活動の成果をまとめます。		
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>① ガイダンス・夏休みの成果報告</li> <li>② 注の付け方、引用の仕方について</li> <li>③ 研究経過報告 ①</li> <li>④ 研究経過報告 ②</li> <li>⑤ 研究経過報告 ③</li> <li>⑥ 研究経過報告 ④</li> <li>⑦ 序論／結論の書き方</li> <li>⑧ 研究経過報告 ⑤</li> <li>⑨ 研究経過報告 ⑥</li> <li>⑩ 研究経過報告 ⑦</li> <li>⑪ 研究経過報告 ⑧</li> <li>⑫ 卒業論文書式の確認</li> <li>⑬ 論文添削指導①</li> <li>⑭ 論文添削指導②</li> <li>⑮ 卒業論文提出・まとめ</li> <li>⑯</li> </ul>		
予復習等	<p>【予習】卒業論文の執筆とそれに必要なリサーチを行うこと</p> <p>【復習】発表後のコメント、助言を踏まえて論文の執筆を進めること</p>		
評価方法	授業姿勢（10%）、発表・授業課題など（30%）、卒業論文（60%）		
履修条件	「イギリス文学研究Ⅰ」を履修済みであることが必要です。「イギリス文化論」を合わせて受講することが望ましいです。		
教科書	なし。資料を配布する。		
参考書	初回の授業で提示する。		

科目名	英語学研究Ⅰ Seminar in English Linguistics Ⅰ	単位数	2
		必選区分	選択
開講学科	英語英文学科（2年前期）	科目区分	演習
担当者	森藤 庄平	教員区分	学内教員
授業目的 到達目標	本講義の目的：①言語を科学的分析ができるよう発見・思考・応用力を鍛える。②英語学を学ぶことによって、英文法を無味乾燥な規則の寄せ集めとしてではなく、「英語のしくみ」を探り、「暗記の文法」から「理解の文法」への橋渡しを行うことによって、英語力を身につける。③英米小説などの読解を行い、英語の仕組み(文法)を発見し駆使、さらに自ら理論構築できるようになることで英語の力をつける。		
授業概要	本授業の概要：①「英語学」理論の枠組みとして生成文法と認知言語学を学び英語の仕組みを探る。②言語を科学的分析ができるよう発見・思考・応用力を鍛える。③英語学（英語の理論）を学ぶことによって、さらなる英語力が身につくように指導する。④英語による論文や教材の講義を含んだ授業を行う。○本授業では、理論と実際のバランスをとるために、理論の基礎を身につける（文献研究）と体得した理論を応用し、また、自ら理論を構築できる事実を発見する（英米小説など読解）を同時に行う。		
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>① ガイダンス</li> <li>② 専門文献の読解 (1) 英米小説などの読解 (1)</li> <li>③ 専門文献の読解 (2) 英米小説などの読解 (2)</li> <li>④ 専門文献の読解 (3) 英米小説などの読解 (3)</li> <li>⑤ 専門文献の読解 (4) 英米小説などの読解 (4)</li> <li>⑥ 文献研究 (1) 英米小説などの読解 (1)</li> <li>⑦ 文献研究 (2) 英米小説などの読解 (2)</li> <li>⑧ 文献研究 (3) 英米小説などの読解 (3)</li> <li>⑨ 文献研究 (4) 英米小説などの読解 (4)</li> <li>⑩ 文献研究 (5) 英米小説などの読解 (5)</li> <li>⑪ 文献研究 (6) 英米小説などの読解 (6)</li> <li>⑫ 文献研究 (7) 英米小説などの読解 (7)</li> <li>⑬ 文献研究 (8) 英米小説などの読解 (8)</li> <li>⑭ 卒論の構想発表 (1)</li> <li>⑮ 卒論の構想発表 (2)</li> <li>⑯ 卒論の構想発表 (3)</li> </ul>		
予復習等	<p>【予習】分からない所を明確にし質問ができるようにする。練習問題を解いておく。</p> <p>【復習】授業の中で、質問などで理解したことをまとめ、予習した練習問題を添削する。・以上の過程を、各回レポートで提出すること。</p>		
評価方法	授業への参加(授業参加度・発言(質疑応答など)・レポート・小テスト)40%、期末試験60%		
履修条件	後期に「英語コミュニケーション研究Ⅱ」を履修すること。		
教科書	『問題を通して学ぶ生成文法』阿部潤著. ひつじ書房.		
参考書	授業の中で指定する。		

科目名	英語学研究Ⅱ	単位数	2
	Seminar in English Linguistics Ⅱ	必選区分	選択
開講学科	英語英文学科（2年後期）	科目区分	演習
担当者	森藤 庄平	教員区分	学内教員
授業目的 到達目標	本講義の目的：①言語を科学的分析ができるよう発見・思考・応用力を鍛える。 ②英語学を学ぶことによって、英文法を無味乾燥な規則の寄せ集めとしてではなく、「英語のしくみ」を探り、「暗記の文法」から「理解の文法」への橋渡しを行うことによって、英語力を身につける。③英米小説などの読解を行い、英語の仕組み（文法）を発見し駆使、さらに自ら理論構築できるようになることで英語の力をつける。		
授業概要	本授業の概要：①「英語学」理論の枠組みとして生成文法と認知言語学を学び英語の仕組みを探る。②言語を科学的分析ができるよう発見・思考・応用力を鍛える。③英語学（英語の理論）を学ぶことによって、さらなる英語力が身につくように指導する。④英語による論文や教材の講読を含んだ授業を行う。○本授業では、理論と実際のバランスをとるために、理論の基礎を身につける（文献研究）と体得した理論を応用し、また、自ら理論を構築できる事実を発見する（英米小説など読解）を同時に行う。		
授業計画	① ガイダンス ② 専門文献の読解（1） 英米小説などの読解（1） ③ 専門文献の読解（1） 英米小説などの読解（1） ④ 専門文献の読解（1） 英米小説などの読解（1） ⑤ 専門文献の読解（1） 英米小説などの読解（1） ⑥ 文献研究（1） 英米小説などの読解（1） ⑦ 文献研究（1） 英米小説などの読解（1） ⑧ 文献研究（1） 英米小説などの読解（1） ⑨ 文献研究（1） 英米小説などの読解（1） ⑩ 文献研究（1） 英米小説などの読解（1） ⑪ 文献研究（1） 英米小説などの読解（1） ⑫ 文献研究（1） 英米小説などの読解（1） ⑬ 文献研究（1） 英米小説などの読解（1） ⑭ 卒論の構想発表（1） ⑮ 卒論の構想発表（1） ⑯ 卒論の構想発表（1）		
予復習等	【予習】分からない所を明確にし質問ができるようにする。練習問題を解いておく。 【復習】授業の中で、質問などで理解したことをまとめ、予習した練習問題を添削する。 ・以上の過程を、各回レポートで提出すること。		
評価方法	授業への参加(授業参加度・発言(質疑応答など)・レポート・小テスト)40%、期末試験60%		
履修条件	学修規定による。真実な受講態度で授業に臨むこと。私語は厳禁とする。		
教科書	授業の中で指定する。		
参考書	授業の中で指定する。		

科目名	英語習得研究Ⅰ	単位数	2
	Seminar in English Language Acquisition Ⅰ	必選区分	選択
開講学科	英語英文学科（2年前期）	科目区分	演習
担当者	小島 ますみ	教員区分	学内教員
授業目的 到達目標	英語教育学、第二言語習得研究やそれに関連する分野での諸議論を考察することとおし、社会や自己への理解を深め、論理的・批判的に考える力や、意見の異なる他者と議論する力を身に付けることを目的とする。到達目標は、以下である。1) 必要な情報を収集したり取捨選択できる力をつける、2) 問題を整理・分析する力をつける、3) 問題を理論的・批判的に考え、他者と議論する力をつける、4) 卒業論文の研究テーマを設定する。		
授業概要	ガイダンスでは、卒業論文作成の流れや文献収集方法の説明や推薦図書を紹介を行う。「専門文献の読解」では、各自が候補の文献から選択した英語教育学・第二言語習得研究に関する概説的な文献をレビューし、全体で討議を行う。「文献研究」では、各自が興味のあるテーマに基づき自由に選択した文献のレビューを行い、全員で内容の討議を行う。卒業論文の構想発表では、みずからの力で設定した卒業論文の研究テーマを発表する。		
授業計画	① ガイダンス ② 専門文献の読解 1 ③ 専門文献の読解 2 ④ 専門文献の読解 3 ⑤ 専門文献の読解 4 ⑥ 専門文献の読解 5 ⑦ 文献研究 1 ⑧ 文献研究 2 ⑨ 文献研究 3 ⑩ 文献研究 4 ⑪ 文献研究 5 ⑫ 文献研究 6 ⑬ 文献研究 7 ⑭ 卒業論文の構想発表 1 ⑮ 卒業論文の構想発表 2 ⑯ 卒業論文の構想発表 3		
予復習等	・「専門文献の読解」、「文献研究」、「卒業論文の構想発表」で各1回発表を行う。 ・卒業論文のテーマを決めるために、各自で文献研究を行う。		
評価方法	出席状況・授業態度 50%、発表等 50%		
履修条件	「英語教育学概論」を合わせて履修することが望ましい。後期に「英語習得研究Ⅱ」を履修すること。		
教科書	適宜資料を配布する		
参考書	ガイダンス時に推薦書のリストを提示する		

科目名	英語習得研究Ⅱ	単位数	2
	Seminar in English Language Acquisition II	必選区分	選択
開講学科	英語英文学科（2年後期）	科目区分	演習
担当者	小島 ますみ	教員区分	学内教員
授業目的 到達目標	英語教育学、第二言語習得研究やそれに関連する分野での諸議論を考察することをおし、社会や自己への理解を深め、論理的・批判的に考える力や、意見の異なる他者と議論する力を身に付けることを目的とする。到達目標は、以下である。1) 必要な情報を収集したり取捨選択できる力をつける、2) 問題を整理・分析する力をつける、3) 問題を理論的・批判的に考え、他者と議論する力をつける、4) 前期、後期をおとして取り組んできたテーマをもとに、卒業論文を完成させる。		
授業概要	英語習得研究Ⅱ初回では、まず卒論の書き方についてガイダンスを行う。また受講生は、前期終了時に設定した各自のテーマによる研究構想をもとに、卒業論文の中間報告を行う。その後、各自が選んだ研究テーマと関連する文献をレビューし、参加者全員で内容や方法論について討議を行う。このような文献レビューや討議をおし、卒業論文の書き方を学んでいく。平行して、卒業論文のための文献調査、データ収集・分析を行い、卒業論文の執筆にあたる。第12週目以降では、各自の論文内容を検討し、必要な修正を施し、論文を完成させる。最終回では、卒論発表会を行う。		
授業計画	① ガイダンス（論文の書き方） ② 文献研究 1 ③ 文献研究 2 ④ 文献研究 3 ⑤ 文献研究 4 ⑥ 文献研究 5 ⑦ 文献研究 6 ⑧ 文献研究 7 ⑨ 文献研究 8 ⑩ 文献研究 9 ⑪ 論文作成指導 1 ⑫ 論文作成指導 2 ⑬ 論文作成指導 3 ⑭ 論文作成指導 4 ⑮ 総括・卒業論文集の完成 ⑯ 卒業論文発表会		
予復習等	・「文献研究」で各2回、「論文作成指導」で1回の発表を行う。 ・卒業論文のテーマを決めるために、各自で文献研究を行う。		
評価方法	出席状況・授業態度 30%、発表等 30%、卒業論文 40%		
履修条件	前期に「英語習得研究Ⅰ」を履修すること		
教科書	適宜資料を配布する		
参考書	ガイダンス時に推薦書のリストを提示する		

科目名	アメリカ社会研究Ⅰ	単位数	2
	Seminar in American Society and Politics I	必選区分	選択
開講学科	英語英文学科（2年前期）	科目区分	演習
担当者	コットン ランダル	教員区分	学内教員
授業目的 到達目標	One goal of this course is to give students some insights into American society today by studying various current issues and discussing how these issues affect the everyday life of Americans. Readings and discussions will focus on the historical background behind important issues, as well as how politics influences these issues. Each year, topics vary, depending on current events and the interests of students. Another goal of the course is to improve skills for collecting and using information in research essays. As all of the readings, writing, and discussions will be done only in English, students who take this seminar need to have an intermediate to high level of reading and writing skills.		
授業概要	The main theme of this course is about issues in American society today. In order to learn about these issues, students will read recent online articles about these issues that affect Americans. In order to gain a broader understanding about the current issues, students will also study related historical, cultural, and political topics. In addition to learning about American society, students will also practice research skills that are necessary for completing the graduation research report. Students will also be asked to present their original research during informal class discussions and short presentations.		
授業計画	① Course introduction [Spring vacation homework due] ② Issues in American society: Topic I (Part 1) ③ Issues in American society: Topic I (Part 2) ④ Student presentations ⑤ Writing workshop: Using outside sources (Part 1) ⑥ Issues in American society: Topic II (Part 1) ⑦ Issues in American society: Topic II (Part 2) ⑧ Student presentations ⑨ Student presentations ⑩ Writing workshop: Using outside sources (Part 2) ⑪ Issues in American society: Topic III (Part 1) ⑫ Issues in American society: Topic III (Part 2) ⑬ Writing workshop: Essay development ⑭ Writing workshop: Citing information ⑮ Writing conferences ⑯ First-semester report due		
予復習等	【予習】 Study the text before coming to class each week. 【復習】 Review the lessons to better remember the material covered in class.		
評価方法	Participation (40%); Written assignments (30%); First-semester report (30%)		
履修条件	1年次に「アカデミック・イングリッシュⅠ・Ⅱ」を受講して、論文を書くのに十分な英作能力を持っていることが望ましい。		
教科書	適宜、プリント等の教材を配布する。		
参考書			

科目名	アメリカ社会研究Ⅱ	単位数	2
	Seminar in American Society and Politics II	必選区分	選択
開講学科	英語英文学科（2年後期）	科目区分	演習
担当者	コットン ランダル	教員区分	学内教員
授業目的 到達目標	Students will continue reading and writing about various current issues concerning U.S. society. One main topic will be used for reading, discussion, and writing. The aim is to read different sources of information about one topic and explore various sides of that topic. Students will begin doing their own research by gathering information about the topic and synthesizing the information. Through examples and practices, students will continue to improve skills for writing longer essays. These longer essays will be developed into their final report for the course. During the final part of the course, students will work independently to complete their final reports in English.		
授業概要	The main theme of this course is about issues in American society today. In order to learn about these issues, students will read recent online articles about these issues that affect Americans. In order to gain a broader understanding about the current issues, students will also study related historical, cultural, and political topics. In addition to learning about American society, students will also practice research skills that are necessary for completing the graduation research report. Students will also be asked to present their original research during informal class discussions and short presentations.		
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>① Teacher-student writing conferences</li> <li>② Issues in American society: Topic IV (Part 1)</li> <li>③ Issues in American society: Topic IV (Part 2)</li> <li>④ Issues in American society: Topic IV (Part 3)</li> <li>⑤ Writing workshop: Report organization</li> <li>⑥ Writing workshop: Topic selection &amp; Thesis development</li> <li>⑦ Student presentations</li> <li>⑧ Essay 1 due / Teacher-student writing conferences</li> <li>⑨ Teacher-student writing conferences</li> <li>⑩ Teacher-student writing conferences</li> <li>⑪ Essay 2 due / Teacher-student writing conferences</li> <li>⑫ Teacher-student writing conferences</li> <li>⑬ Teacher-student writing conferences</li> <li>⑭ Essay 3 due / Teacher-student writing conferences</li> <li>⑮ Teacher-student writing conferences</li> <li>⑯ Graduation Research Report due</li> </ul>		
予復習等	<p>【予習】 Study the text before coming to class each week.</p> <p>【復習】 Review the lessons to better remember the material covered in class.</p>		
評価方法	Participation (10%); Written assignments (20%); Graduation research report (70%)		
履修条件	「アメリカ社会研究Ⅱ」を受講をすること。		
教科書	適宜、プリント等の教材を配布する。		
参考書			

科目名	ライティングⅠ	単位数	1
	English Composition I	必選区分	必修
開講学科	英語英文学科（1年前期）	科目区分	演習
担当者	大澤 聡子	教員区分	学内教員
授業目的 到達目標	本授業では、自分の考えや情報を分かりやすくかつ正確に伝えるための英文を書く基礎力を身につけることを目的とする。①英文ライティングの典型的なパターンを理解し、目的に応じた効果的な表現ができること、②英語の規則と構造を理解し、正確な英文が書けることの2つを到達目標とする。		
授業概要	本授業ではリーディングとライティングの統合型テキストを使用する。リーディングでは目的別に書かれた英文を読み、それぞれの目的に応じた英文構成の典型的パターンをまず理解する。手本となるリーディング教材からは、説得力、論理性、一貫性、深みを文章に加味する表現を発見し、語彙と表現力を身につける。また、正確な英文が書けるようになるため、基本的な文法項目について練習問題を行う。テキストの各ユニットでは最後に、与えられた目的に対して正確な英文で、効果的な論理展開をもつ内容を1つのパラグラフとして仕上げる。		
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>① ガイダンス</li> <li>② Cause &amp; Effect、原因・理由を表す（1）</li> <li>③ Cause &amp; Effect、原因・理由を表す（2）</li> <li>④ Compare &amp; Contrast、比較を表す（1）</li> <li>⑤ Compare &amp; Contrast、比較を表す（2）</li> <li>⑥ Giving an Opinion、to不定詞（1）</li> <li>⑦ Giving an Opinion、to不定詞（2）</li> <li>⑧ Classification Writing、受動態（1）</li> <li>⑨ Classification Writing、受動態（2）</li> <li>⑩ Describing a Process、時を表す（1）</li> <li>⑪ Describing a Process、時を表す（2）</li> <li>⑫ Descriptive Writing、形容詞と副詞（1）</li> <li>⑬ Descriptive Writing、形容詞と副詞（2）</li> <li>⑭ Persuasive Writing、無生物主語（1）</li> <li>⑮ Persuasive Writing、無生物主語（2）</li> <li>⑯ 定期試験</li> </ul>		
予復習等	<p>【予習】 テキストの授業範囲を読み込み、問題を解いておく。</p> <p>【復習】 重要項目をまとめる。課題を見直し、復習する。</p>		
評価方法	出席状況・授業態度20%、課題30%、定期試験50%		
履修条件	なし		
教科書	『Jigsaw』／著：Robert Hickling他／出版：センゲージラーニング		
参考書	授業で指示する。		

科目名	ライティングⅡ English Composition Ⅱ	単位数	1
		必選区分	必修
開講学科	英語英文学科（1年後期）	科目区分	演習
担当者	大澤 聡子	教員区分	学内教員
授業目的 到達目標	<p>本授業では、自分の考えや情報を分かりやすくかつ正確に伝えるための英文を書く基礎力を身につけることを目的とする。①英文ライティングの典型的なパターンを理解し、目的に応じた効果的な表現ができること、②英語の規則と構造を理解し、正確な英文が書けること、③指定された書式に従ってワープロで英文を仕上げることの3つを到達目標とする。</p>		
授業概要	<p>「ライティングⅠ」に引き続き、リーディングとライティングの統合型テキストを使用する。リーディングでは目的別に書かれた英文を読み、それぞれの目的に応じた英文構成の典型的パターンをまず理解する。リーディング教材からは、説得力、論理性、一貫性、深みを文章に加味する表現を発見し、語彙や表現力を身につけていく。正確な英文が書けるようにするため、基本的な文法項目について練習問題を行う。説得力と論理性を備え、表現力豊かかつ正確な英文を書くことを目指し、テキストの各ユニットで与えられた目的に応じた、まとまりのあるパラグラフを書く。提出物は全て指定された書式でワープロで仕上げる。</p>		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>① ガイダンス（書式について）</li> <li>② Writing to Evaluate、完了時制（1）</li> <li>③ Writing to Evaluate、完了時制（2）</li> <li>④ Pros &amp; Cons、相関接続詞と群前置詞（1）</li> <li>⑤ Pros &amp; Cons、相関接続詞と群前置詞（2）</li> <li>⑥ Writing to Advise、形式主語（1）</li> <li>⑦ Writing to Advise、形式主語（2）</li> <li>⑧ Writing to Clarify、否定を表す（1）</li> <li>⑨ Writing to Clarify、否定を表す（2）</li> <li>⑩ Reflective Writing、他者の言葉を伝える（1）</li> <li>⑪ Reflective Writing、他者の言葉を伝える（2）</li> <li>⑫ Problem Solving、目的を表す（1）</li> <li>⑬ Problem Solving、目的を表す（2）</li> <li>⑭ Writing to Entertain、付帯状況・同時を表す（1）</li> <li>⑮ Writing to Entertain、付帯状況・同時を表す（2）</li> <li>⑯ 定期試験</li> </ol>		
予復習等	<p>【予習】テキストの授業範囲を読み込み、問題を解いておく。 【復習】重要項目をまとめる。課題を見直し、復習する。</p>		
評価方法	出席状況・授業態度20%、課題30%、定期試験50%		
履修条件	なし		
教科書	『Jigsaw』／著：Robert Hickling他／出版：センゲージラーニング		
参考書	初回の講義で指示する、		

科目名	ライティングⅢ English Composition Ⅲ	単位数	1
		必選区分	必修
開講学科	英語英文学科（2年前期）	科目区分	演習
担当者	森藤 庄平	教員区分	学内教員
授業目的 到達目標	<p>（1）英作文の基礎となる語彙・文法を、暗記ではなく「理解」し応用できるようにして、雰囲気ではなく「意識」して英語が書けるようになる。（2）日本語的発想とは異なる「英語的発想」を生かすことにより、日本語にひきずられた英語らしからぬ英文という間違いをしないようになる。</p>		
授業概要	<p>英作文の向上のため、英作文の基礎となる語彙・文法を、暗記ではなく「理解」して使えるように指導する。例えば「私は岐阜短の学生です」に対応する英語は、I am a student at [Xof] Gifu City Women's College.であると単に暗記するのではなく、「なぜ」そうなるのかを考察してもらい「英語の仕組み」を探ってもらう。暗記の英語から理解の英語へと橋渡しをすることで、英語の仕組みを駆使しながら、日本語的発想と異なる「英語的発想」で「意識的」に英作文ができるように指導する。前期は「日本語の発想から脱して英語の発想で書く」ことを身につけることを目指す。</p>		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>① ガイダンス</li> <li>② 主語（1）</li> <li>③ 主語（2）</li> <li>④ 動詞（1）</li> <li>⑤ 動詞（2）</li> <li>⑥ 副詞（1）</li> <li>⑦ 副詞（2）</li> <li>⑧ 時制（1）</li> <li>⑨ 時制（2）</li> <li>⑩ 時制（3）</li> <li>⑪ 時制（4）</li> <li>⑫ 接続詞（1）</li> <li>⑬ 接続詞（2）</li> <li>⑭ 文(1)</li> <li>⑮ 文(2)</li> <li>⑯ 定期試験</li> </ol>		
予復習等	<p>【予習】分からない所を明確にし質問ができるようにする。練習問題を解いておく。 【復習】授業の中で、質問などで理解したことをまとめ、予習した練習問題を添削する。 ・以上の過程を、各回レポートで提出すること。</p>		
評価方法	授業への参加(授業参加度・発言(質疑応答など)・レポート・小テスト)40%、期末試験60%		
履修条件	学修規定による。真芸な受講態度で授業に臨むこと。私語は厳禁とする。		
教科書	『英語モードが身につくライティング』大井恭子・伊藤文彦著、研究社。		
参考書	授業の中で指定する。		

科目名	ライティングIV English Composition IV	単位数	1
		必選区分	必修
開講学科	英語英文学科（2年後期）	科目区分	演習
担当者	森藤 庄平	教員区分	学内教員
授業目的 到達目標	<p>（1）英作文の基礎となる語彙・文法を、暗記ではなく「理解」し応用できるようにして、雰囲気ではなく「意識」して英語が書けるようになる。（2）日本語的発想とは異なる「英語的発想」を生かすことにより、日本語にひきずられた英語らしからぬ英文という間違いをしないようになる。</p>		
授業概要	<p>英作文の向上のため、英作文の基礎となる語彙・文法を、暗記ではなく「理解」して使えるように指導する。例えば「私は岐阜女の学生です」に対応する英語は、I am a student at [Xof] Gifu City Women's College.であると単に暗記するのではなく、「なぜ」そうなるのかを考察してもらい「英語の仕組み」を探ってもらおう。暗記の英語から理解の英語へと橋渡しをすることで、英語の仕組みを駆使しながら、日本語的発想と異なる「英語的発想」で「意識的」に英作文ができるように指導する。後期は「より複雑な文を書く」ことを身に着けることを目指す。</p>		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>① ガイダンス</li> <li>② 単文（1）</li> <li>③ 単文（2）</li> <li>④ 重文（1）</li> <li>⑤ 重文（2）</li> <li>⑥ 副文（1）名詞的用法</li> <li>⑦ 副文（2）名詞的用法</li> <li>⑧ 副文（3）形容詞的用法</li> <li>⑨ 副文（4）形容詞的用法</li> <li>⑩ 副文（5）副詞的用法</li> <li>⑪ 副文（6）副詞的用法</li> <li>⑫ センテンス・コンパインング(1)</li> <li>⑬ センテンス・コンパインング(2)</li> <li>⑭ カンマの使い方</li> <li>⑮ まとめ</li> <li>⑯ 定期試験</li> </ol>		
予復習等	<p>【予習】分からない所を明確にし質問ができるようにする。練習問題を解いておく。  【復習】授業の中で、質問などで理解したことをまとめ、予習した練習問題を添削する。  ・以上の過程を、各回レポートで提出すること。</p>		
評価方法	<p>授業への参加(授業参加度・発言(質疑応答など)・レポート・小テスト)40%、期末試験60%</p>		
履修条件	<p>学修規定による。真摯な受講態度で授業に臨むこと。私語は厳禁とする。</p>		
教科書	<p>『英語モードが身につくライティング』大井恭子・伊藤文彦著. 研究社.</p>		
参考書	<p>授業の中で指定する。</p>		

科目名	英文法 I English Grammar I	単位数	1
		必選区分	必修
開講学科	英語英文学科（1年前期）	科目区分	演習
担当者	森藤 庄平	教員区分	学内教員
授業目的 到達目標	<p>本講義の目的：①高校までに学習した英文法について振り返り、さらに深く学習し、英文法について知識を深める。②学生自ら「この文・談話で、どこに文法的な問題点があるのかを発見し」、「そこにどのような英語の仕組みがあるのかを探り」、「その仕組みがどのように他の文に应用できるのか」が行える力を身につける。</p>		
授業概要	<p>本授業では英文法を無味乾燥な規則の寄せ集めとしてではなく、「英語のしくみ」を探り、「暗記の文法」から、「理解の文法」への橋渡しを行う。また、学生自ら、英文読解・英作文するとき、どこに文法的な問題があるのかを「発見」し、その問題を「考察」し、その考察したものを他の英文にも「応用」できるように指導する。</p>		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>① ガイダンス</li> <li>② 文(1)</li> <li>③ 文(2)</li> <li>④ 名詞・代名詞・冠詞</li> <li>⑤ 形容詞・副詞</li> <li>⑥ 動詞(1)</li> <li>⑦ 動詞(2)</li> <li>⑧ 不定詞・分詞・動名詞</li> <li>⑨ 接続詞・前置詞</li> <li>⑩ 関係代名詞・関係副詞</li> <li>⑪ 時制</li> <li>⑫ 態</li> <li>⑬ 仮定法</li> <li>⑭ 比較</li> <li>⑮ 否定</li> <li>⑯ 定期試験</li> </ol>		
予復習等	<p>【予習】分からない所を明確にし質問ができるようにする。練習問題を解いておく。  【復習】授業の中で、質問などで理解したことをまとめ、予習した練習問題を添削する。  ・以上の過程を、各回レポートで提出すること。</p>		
評価方法	<p>授業への参加(授業参加度・発言(質疑応答など)・レポート・小テスト)40%、期末試験60%</p>		
履修条件	<p>学修規定による。真摯な受講態度で授業に臨むこと。私語は厳禁とする。</p>		
教科書	<p>『英文法総覧—改訂版—』安井稔著. 開拓社.</p>		
参考書	<p>授業の中で指定する。</p>		

科目名	英文法Ⅱ	単位数	1
	English Grammar II	必選区分	必修
開講学科	英語英文学科（1年後期）	科目区分	演習
担当者	森藤 庄平	教員区分	学内教員
授業目的 到達目標	本講義の目的：①高校までに学習した英文法について振り返り、さらに深く学習し、英文法について知識を深める。②学生自ら「この文・談話で、どこに文法的な問題点があるのかを発見し」、「そこにどのような英語の仕組みがあるのかを探り」、「その仕組みがどのように他の文に活用できるのか」が行える力を身につける。		
授業概要	本授業では英文法を無味乾燥な規則の寄せ集めとしてではなく、「英語のしくみ」を探り、「暗記の文法」から、「理解の文法」への橋渡しを行う。また、学生自ら、英文読解・英作文するとき、どこに文法的な問題があるのかを「発見」し、その問題を「考察」し、その考察したものを他の英文にも「応用」できるように指導する。		
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>① ガイダンス</li> <li>② 動詞を中心とする構文(1)</li> <li>③ 動詞を中心とする構文(2)</li> <li>④ 名詞を中心とする構文(1)</li> <li>⑤ 名詞を中心とする構文(2)</li> <li>⑥ 形容詞を中心とする構文(1)</li> <li>⑦ 形容詞を中心とする構文(2)</li> <li>⑧ 形式語it, there</li> <li>⑨ 形容詞修飾語句</li> <li>⑩ 副詞的修飾語句</li> <li>⑪ 副詞節と副詞句</li> <li>⑫ 文の主題と情報構造</li> <li>⑬ 協調</li> <li>⑭ 省略と挿入</li> <li>⑮ まとめ</li> <li>⑯ 定期試験</li> </ul>		
予復習等	【予習】分からない所を明確にし質問ができるようにする。練習問題を解いておく。 【復習】授業の中で、質問などで理解したことをまとめ、予習した練習問題を添削する。 ・以上の過程を、各回レポートで提出すること。		
評価方法	授業への参加(授業参加度・発言(質疑応答など)・レポート・小テスト)40%、期末試験60%		
履修条件	学修規定による。真芸な受講態度で授業に臨むこと。私語は厳禁とする。		
教科書	『英文法総覧—改訂版—』安井稔著. 開拓社.		
参考書	授業の中で指定する。		

科目名	オーラル・イングリッシュⅠ	単位数	1
	Oral English I	必選区分	必修
開講学科	英語英文学科（1年前期）	科目区分	演習
担当者	小島 ますみ	教員区分	学内教員
授業目的 到達目標	英語のリスニング能力を伸ばし、さらに英語で場面を要約する力や自分の考えを発表できる力を付けることを目的とする。到達目標は、1) 映画で使用される自然な英語を聞いて概ね理解することができる、2) テーマと関連する基礎的な英文を読み、情報を得ることができる、3) 映画でよく使用される自然な表現を使って、コミュニケーションができる、4) 英語で自分の考えを表現できる、の4点である。		
授業概要	CALL教室でビデオ・音声教材を使用し、アメリカ社会の現実を浮き彫りにした映画を題材に、英語のリスニング能力を伸ばすとともに英語の表現力を高める。また、リーディング力や語彙力も高め、音読やシャドーイング練習にも力を入れる。映画の場面をペアで練習することで、英語のリズムを身に付ける。アメリカの社会問題と日本社会を比較することで、アメリカ社会に対する理解を深めるとともに、自国の社会についても再認識し、英語で自分の考えを表現できる力を付ける。		
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>① ガイダンス、英語で自己紹介</li> <li>② Unit 2: Job Hunting (Reading)</li> <li>③ Unit 3: Job Hunting (Audio-Visual Learning)</li> <li>④ Unit 4: Discovery (Reading)</li> <li>⑤ Unit 5: Discovery (Audio-Visual Learning)</li> <li>⑥ Unit 6: Getting Ready for the Suit (Reading)</li> <li>⑦ Unit 7: Getting Ready for the Suit (Audio-Visual Learning)</li> <li>⑧ Unit 8: Four-hundred-or-so Plaintiffs (Reading)</li> <li>⑨ Unit 9: Four-hundred-or-so Plaintiffs (Audio-Visual Learning)</li> <li>⑩ Unit 10: Binding Arbitration (Reading)</li> <li>⑪ Unit 11: Binding Arbitration (Audio-Visual Learning)</li> <li>⑫ Unit 12: Settlement (Reading)</li> <li>⑬ Unit 13: Settlement (Audio-Visual Learning)</li> <li>⑭ Unit 14: The Real Erin (Extra Reading)</li> <li>⑮ Review</li> <li>⑯ 期末試験</li> </ul>		
予復習等	【予習】各UnitのVocabulary Check, Vocabulary in Use 【復習】リーディング、リスニング教材の復習、音読、シャドーイング		
評価方法	出席状況・授業態度 30%、小テスト30%、期末試験40%		
履修条件	なし		
教科書	『English on Screen: Learning Real English through Erin Brockovich』 Kinseido		
参考書	なし		

科目名	オーラル・イングリッシュⅡ Oral English II	単位数	1
		必選区分	必修
開講学科	英語英文学科（1年後期）	科目区分	演習
担当者	本橋 香	教員区分	本学教員
授業目的 到達目標	基本的な英文法を再確認しながら、読む、話す、書く、聞くの英語4技能を向上させることを目指す。映像を使用した教科書の会話練習やリスニング練習を通して、単に知識だけではない日常で使える英語力を養うことが目的である。学生自身がどのように学習すれば効果的に英語力を伸ばすことができるのかを能動的に考え、実践できるようになることが目標である。		
授業概要	日常的に必要な語彙や使える英会話、文法事項を練習問題で確認しながら、ペアワークやグループワークを取り入れて、学んだ内容をしっかり定着させる。映画『タイタニック』を素材とした視聴覚教材を使用しているため、自然な日常会話を聞いてパターンプラクティスを行い、使える英会話フレーズを増やす。また、授業の予習、復習や英単語を増やすなど、学生自らが積極的な学習態度を身につけるとともに、英文法を復習し、再確認する。		
授業計画	① ガイダンス The Woman in the Picture ② Back to Titanic ③ Leaving Port ④ Don't Do It ⑤ Do You Love Him? ⑥ I Can't See You ⑦ I'm Flying! ⑧ 中間テスト ⑨ Iceberg Right Ahead! ⑩ An Honest Thief ⑪ Goodbye, Mother ⑫ Get in the Boat ⑬ Two Tragic Bullets ⑭ Promise Me ⑮ Rose's Secret ⑯ 期末試験		
予復習等	【予習】単語を調べておく。プレゼンテーションに備えて準備する。 【復習】毎回の小テストに備えて単語と英語表現を復習する。		
評価方法	期末試験 50% 中間テスト 30% 小テスト 10% プレゼンテーション 10%		
履修条件	なし		
教科書	『映画タイタニックで学ぶ総合英語』成美堂		
参考書	英語の辞書を持参すること。		

科目名	オーラル・イングリッシュⅢ Oral English III	単位数	1			
		必選区分	選択			
開講学科	英語英文学科（2年前期）	科目区分	演習			
担当者	佐々木 真帆美	教員区分	非常勤講師			
授業目的 到達目標	実用的な英語運用能力を伸ばすための授業で、特に英語の「聞く力」「話す力」を重点的に伸ばすことを目標にする。「オーラル・イングリッシュⅢ」では、より高度に英語を使いこなす能力を身に付けるため、英語のプレゼンテーションに挑戦する。またそのために必要な英語プレゼンの技術も身に付ける。					
授業概要	アメリカの主要都市・地域を映した映像をもとに、現地の人々のインタビュー、レポート、会話を通して加工されていないネイティブの英語を聞き取る力を身につける。また、アカデミックな環境において英語でコミュニケーションできる能力を向上させることも目指す。そのため毎回の授業でオーラル・プレゼンテーションの技術を習い、学期末には一人あたり5分程度のリサーチ・プレゼンテーション（英語）を行う。授業は基本的に英語で行う。					
授業計画	① Introduction ② Unit 1. New York I & Pronunciation Practice (1) ③ Unit 2. New York II & Pronunciation Practice (2) ④ Unit 3. Boston & Pronunciation Practice (3) ⑤ Unit 4. Small Towns & Pronunciation Practice (4) ⑥ Unit 5. Yellowstone & Presentation Skills (1) ⑦ Unit 6. Las Vegas & Presentation Skills (2) ⑧ Unit 7. Los Angeles & Presentation Skills (3) ⑨ Unit 8. Seattle & Presentation Skills (4) ⑩ Unit 9. Maui & Presentation Skills (5) ⑪ Unit 10. Street Performers & Presentation Skills (6) ⑫ Preparations for the Presentation ⑬ Presentation Day (1) ⑭ Presentation Day (2) ⑮ Review ⑯ Final Exam 期末試験					
予復習等	【予習】教科書の指定された箇所をあらかじめ読み、分からないことは調べておく。 【復習】教科書を中心に、知らなかった単語・表現を復習し、単語テストに備える。 最終プレゼンのために、事前の準備を綿密に行う。					
評価方法	英語プレゼン	40%	期末試験	30%	授業参加	30%
履修条件	なし					
教科書	American Vibes:People, Places and Perspectives映像で学ぶアメリカの素顔：都市・人々・視点					
参考書	授業中に指定する					

科目名	オーラル・イングリッシュⅣ Oral English Ⅳ	単位数	1
		必選区分	選択
開講学科	英語英文学科（2年後期）	科目区分	演習
担当者	大澤 聡子	教員区分	学内教員
授業目的 到達目標	本授業は、英語コミュニケーション能力の中で特に「聞く」「話す」技能の運用能力向上を目的とする。様々なジャンルから選ばれたニュース映像を視聴し、①ナチュラルスピードで話される内容を理解し、②その内容を要約して自分の言葉で伝えたり、議論できる英語力を身につけることを到達目標とする。		
授業概要	本授業ではアメリカの学生向けニュース番組CNN10 を教材とし、様々なジャンルから選ばれたニュース映像を視聴する。「聞く」技能のトレーニングとしてシャドーイングを行い、ニュースのスピードに慣れる。理解した内容は自分の言葉で要約して発表したり、内容についての意見を述べ議論するなど「話す」技能を身につける。英語ニュースに関心をもち、自発的に興味のある話題を見つけて、内容を発表する。		
授業計画	① ガイダンス ② Unit 1 ③ Unit 2 ④ Unit 3 ⑤ Latest CNN10 ⑥ Unit 4 ⑦ Unit 5 ⑧ Unit 6 ⑨ CNN Heroes ⑩ Unit 7 ⑪ Unit 8 ⑫ Unit 9 ⑬ Unit 10 ⑭ Latest CNN10 ⑮ Presentation ⑯ 定期試験		
予復習等	【予習】テキストの該当範囲の問題を解いておく。 【復習】音声ストリーミング配信を使って、復習する。単語リストを作る。		
評価方法	出席状況・授業態度20%、発表10%、小テスト20%、定期試験50%		
履修条件	なし		
教科書	『CNN10 Student News Vol.9』／著：関戸冬彦／出版：朝日出版社		
参考書	授業で指示する。		

科目名	リーディングⅠ English Reading Ⅰ	単位数	1
		必選区分	必修
開講学科	英語英文学科（1年前期）	科目区分	演習
担当者	鈴木 辰一	教員区分	学内教員
授業目的 到達目標	「英文を速く、正確に読む」という力を身につけることを目標とします。英文を読むスピードについては、1分あたり150～200wordsのスピードで読むことができるようになることを目標とします。精度を上げるために必要な語彙力を身につけていきます。これらの目標に到達することにより、それほど難しくない英文であれば、速く、正確に読む力を身につけます。		
授業概要	この授業では、英文を読み終えるのにかかった時間や1分あたりに読むことのできるスピードを強く意識しながら速読の訓練を行います。授業の2/3ほどの時間を使って、教科書のリーディング教材を素早く読み、内容確認の問題演習を行います。残りの時間を使って、少し難しめの英文を精読する訓練も行います。これらの活動を通して、総合的な英文読解力の向上を目指していきます。		
授業計画	① ガイダンス ② Unit 1 ③ Unit 2 ④ Unit 3 ⑤ Unit 4 ⑥ Unit 5 / Unit 1-4 語彙テスト ⑦ Unit 6 ⑧ Unit 7 ⑨ Unit 8 ⑩ Unit 9 / Unit 5-8 語彙テスト ⑪ Unit 10 ⑫ Unit 11 ⑬ Unit 12 ⑭ Mini-Test / Unit 9-12 語彙テスト ⑮ 総合演習 ⑯ 期末試験		
予復習等	【予習】Section A各Unitの1 Word Studyをやっておくこと 【復習】各Unitの2-C、2-Dを行うこと／各Unitに出てきた語彙で、意味などを知らなかったものを覚えておくこと。		
評価方法	授業姿勢（10%）、語彙テスト（20%）、期末試験（70%）		
履修条件	なし		
教科書	『Practical Reading Skills for the TOEIC Test』／著：是近成子、上仲律子／出版：成美堂		
参考書	なし		

科目名	リーディングⅡ English Reading Ⅱ	単位数	1
		必選区分	必修
開講学科	英語英文学科（1年後期）	科目区分	演習
担当者	鈴木 辰一	教員区分	学内教員
授業目的 到達目標	中級レベルの英文読解能力の養成を目指す。様々なジャンル、パターンの英文に応じて英文を読む際に注意すべき点を確認し、実際の読解の際に役立つテクニック、スキルを習得していく。合わせて読解力の養成に必要な語彙を身につけることも目指し、総合的な英文読解能力の向上を到達目標とする。		
授業概要	中級レベルの英文読解能力を習得するための授業である。毎回の授業ではテキストのユニットを1つずつ進めていく。予習を前提としているので、受講者は各回の授業で扱うユニットの文章を読み、テキストの課題を解いておくことが求められる。合わせて少し複雑な構造の英文を正確に読むための訓練も行う。また、授業外の課題として、多読を課します。100,000wordsを目標に多読図書を読んでいきます。		
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>① ガイダンス</li> <li>② Unit 1</li> <li>③ Unit 2</li> <li>④ Unit 3</li> <li>⑤ Unit 4</li> <li>⑥ Unit 5</li> <li>⑦ Unit 6</li> <li>⑧ Unit 7</li> <li>⑨ Unit 8</li> <li>⑩ Unit 9</li> <li>⑪ Unit 10</li> <li>⑫ Unit 11</li> <li>⑬ Unit 12</li> <li>⑭ Unit 13</li> <li>⑮ Unit 14</li> <li>⑯ 期末試験</li> </ul>		
予復習等	<p>【予習】各Unitの英文を読み、問題を解いてくること</p> <p>【復習】(1) 授業で扱ったUnitに出てきた語彙を確認すること(2) 授業で扱ったUnitの本文をもう一度、すらすら読めるようになるまで読むこと</p>		
評価方法	授業姿勢（20％）、多読課題（10％）、期末試験（70％）		
履修条件	なし		
教科書	『Reading Stream: Intermediate』金星堂』／著：竹内理／出版：金星堂		
参考書	なし		

科目名	リーディングⅢ English Reading Ⅲ	単位数	1
		必選区分	選択
開講学科	英語英文学科（2年前期）	科目区分	演習
担当者	鈴木 辰一	教員区分	学内教員
授業目的 到達目標	中・上級レベルの英文読解能力の養成を目指します。少し難易度の高い文章を読むことを通じて、複雑な文の構造を把握し、意味を正確に読み取れるようになることを目的とします。また、レベルの高い英文読解力の養成に必要な語彙の習得を通じて、総合的な英語力の向上も目指していきます。		
授業概要	中・上級レベルの英文読解能力の習得を目的とする授業です。政治や歴史など大きなテーマから、ごく日常的な話題に至るまで、様々な話題を扱った少し難易度の高い文章を読み進めていきます。また、様々な文章を読むことを通じて、これからの時代を生きていくために必要な幅広い視点を養うことも目指していきます。授業では3回につき1つずつLessonを丁寧に読み進めていきます。読む英文の難易度がかなり高いので、解説に時間をかけながら進めていきます。また、授業外の課題として、多読を課します。前期中に100,000wordsを目標に多読図書を読んでいきます。		
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>① ガイダンス</li> <li>② Lesson 1 ①</li> <li>③ Lesson 1 ②</li> <li>④ Lesson 2 ①</li> <li>⑤ Lesson 2 ②</li> <li>⑥ Lesson 3 ①</li> <li>⑦ Lesson 3 ②</li> <li>⑧ Lesson 4 ①</li> <li>⑨ Lesson 4 ②</li> <li>⑩ Lesson 5 ①</li> <li>⑪ Lesson 5 ②</li> <li>⑫ Lesson 6 ①</li> <li>⑬ Lesson 6 ②</li> <li>⑭ Lesson 7 ①</li> <li>⑮ Lesson 7 ②</li> <li>⑯ 期末試験</li> </ul>		
予復習等	<p>【予習】各回の授業で指定された課題を行ってくること</p> <p>【復習】(1) 授業で扱ったLessonに出てきた語彙で知らなかったものを確認すること(2) 授業で扱ったLessonの本文をもう一度、すらすら読めるようになるまで読むこと</p>		
評価方法	授業姿勢（20％）、多読課題（10％）、期末試験（70％）		
履修条件	なし		
教科書	『A World of Ideas: Active Reading for Global Awareness』／著：Jim Knudsen他／出版：南雲堂		
参考書	なし		

科目名	リーディングⅣ	単位数	1
	English Reading IV	必選区分	選択
開講学科	英語英文学科（2年後期）	科目区分	演習
担当者	鈴木 辰一	教員区分	学内教員
授業目的 到達目標	「リーディングⅢ」に引き続き、中・上級レベル（TOEIC500程度～）の英文読解能力の養成を目指します。少し難易度の高い文章を読むことを通じて、複雑な文の構造を把握し、意味を正確に読み取れるようになることを目的とします。また、レベルの高い英文読解力の養成に必要な語彙の習得を通じて、総合的な英語力の向上も目指していきます。		
授業概要	中・上級レベルの英文読解能力の習得を目的とする授業です。政治や歴史など大きなテーマから、ごく日常的な話題に至るまで、様々な話題を扱った少し難易度の高い文章を読み進めていきます。また、様々な文章を読むことを通じて、これからの時代を生きていくために必要な幅広い視点を養うことも目指していきます。授業では受講者の興味に応じて読むトピックを選択し、2回につき1つずつLessonを読み進めていきます。読む英文の難易度がかなり高いので、解説に時間をかけながら進めていきます。また、授業外の課題として、多読を課します。100,000wordsを目標に多読図書を読んでいきます。		
授業計画	① ガイダンス ② Lesson 9 ① ③ Lesson 9 ② ④ Lesson 10 ① ⑤ Lesson 10 ② ⑥ Lesson 11 ① ⑦ Lesson 11 ② ⑧ Lesson 12 ① ⑨ Lesson 12 ② ⑩ Lesson 13 ① ⑪ Lesson 13 ② ⑫ Lesson 14 ① ⑬ Lesson 14 ② ⑭ Lesson 15 ① ⑮ Lesson 15 ② ⑯ 期末試験		
予復習等	【予習】各回の授業で指定された課題を行ってこること 【復習】(1) 授業で扱ったLessonに出てきた語彙で知らなかったものを確認すること／(2) 授業で扱ったLessonの本文をもう一度、すらすら読めるようになるまで読むこと		
評価方法	授業姿勢（20%）、多読課題（10%）、期末試験（70%）		
履修条件	なし		
教科書	『A World of Ideas: Active Reading for Global Awareness』／著：Jim Knudsen他／出版：南雲堂		
参考書	なし		

科目名	英会話A I	単位数	1
	English Conversation A I	必選区分	必修
開講学科	英語英文学科（1年前期）	科目区分	演習
担当者	コットン ランダル	教員区分	学内教員
授業目的 到達目標	This class will help students improve their English conversation skills. Clear training in how to speak English like a native speaker will be given. The aim is to help students understand the differences between Japanese and Western cultural speaking styles in order to communicate more effectively. With this knowledge, students will be able to use simple expressions to speak like native speakers of English.		
授業概要	Students will spend much time in class learning vocabulary and speaking with classmates about everyday life topics. Vocabulary quizzes will be given at the end of each unit. By the end of the course, if students work hard, they will be able to speak English more fluently, accurately, and with more complexity than they could at the beginning of the year.		
授業計画	① Orientations / Introduction to conversation strategies ② Unit 1 (Part 1): Getting acquainted ③ Unit 1 (Part 2): Majors, school years, and clubs ④ Unit 1 (Part 3): Golden Rule #1 / Part-time jobs ⑤ Unit 1 Review / Golden Rule #2 / Quiz ⑥ Unit 2 (Part 1): Daily routines ⑦ Unit 2 (Part 2): Hardest / easiest days of the week ⑧ Unit 2 (Part 3): Daily activities / Golden Rule #3 ⑨ Quiz / Speaking Test #1 ⑩ Unit 3 (Part 1): Hometown attractions ⑪ Unit 3 (Part 2): Hometown likes & dislikes ⑫ Unit 3 (Part 3): Where to live in the future ⑬ Quiz / Unit 4 (Part 1): Travel experiences ⑭ Unit 4 (Part 2): Future travel ideas ⑮ Unit 4 (Part 3): Planning a trip ⑯ Quiz / Speaking Test #2		
予復習等	【予習】 Study the textbook before coming to class each week. 【復習】 Review the lessons to better remember the material covered in class.		
評価方法	Participation (20%); Vocabulary quizzes & homework (30%); Speaking tests (50%)		
履修条件			
教科書	Conversations in Class (3E). Jerry Talandis Jr. and Bruno Vannieu. Alma Publishing, Kyoto. 2015.		
参考書			

科目名	英会話AII	単位数	1
	English Conversation AII	必選区分	必修
開講学科	英語英文学科（1年後期）	科目区分	演習
担当者	コットン ランダル	教員区分	学内教員
授業目的 到達目標	This class will help students improve their English conversation skills. Clear training in how to speak English like a native speaker will be given. The aim is to help students understand the differences between Japanese and Western cultural speaking styles in order to communicate more effectively. With this knowledge, students will be able to use simple expressions to speak like native speakers of English.		
授業概要	Students will spend much time in class learning vocabulary and speaking with classmates about everyday life topics. Vocabulary quizzes will be given at the end of each unit. By the end of the course, if students work hard, they will be able to speak English more fluently, accurately, and with more complexity than they could at the beginning of the year.		
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>① Orientation / Review of units 1-4</li> <li>② Unit 5 (Part 1): Talking about breaks</li> <li>③ Unit 5 (Part 2): Free time activities</li> <li>④ Unit 5 (Part 3): Current &amp; future hobbies</li> <li>⑤ Quiz / Unit 6 (Part 1): Music</li> <li>⑥ Unit 6 (Part 2): Movies</li> <li>⑦ Unit 6 (Part 3): TV, reading and games</li> <li>⑧ Quiz / Speaking Test #3</li> <li>⑨ Unit 7 (Part 1): Recent meals</li> <li>⑩ Unit 7 (Part 2): Food likes &amp; dislikes</li> <li>⑪ Unit 7 (Part 3): Exotic foods &amp; eating out</li> <li>⑫ Quiz / Unit 8 (Part 1): Five years later</li> <li>⑬ Unit 8 (Part 2): Discussing life issues</li> <li>⑭ Unit 8 (Part 3): Dream jobs</li> <li>⑮ Quiz / Review of units 5-8</li> <li>⑯ Speaking Test #4</li> </ul>		
予復習等	<p>【予習】 Study the textbook before coming to class each week.</p> <p>【復習】 Review the lessons to better remember the material covered in class.</p>		
評価方法	Participation (20%); Vocabulary quizzes & homework (30%); Speaking tests (50%)		
履修条件	「英会話AI」を受講をすること。		
教科書	Conversations in Class (3E). Jerry Talandis Jr. and Bruno Vannieu. Alma Publishing, Kyoto. 2015.		
参考書	<a href="http://www.cic-multimedia.com/">http://www.cic-multimedia.com/</a>		

科目名	英会話B I	単位数	1
	English Conversation B I	必選区分	選択
開講学科	英語英文学科（1年前期）	科目区分	演習
担当者	杉浦 エレナ	教員区分	非常勤講師
授業目的 到達目標	The objectives of this course are for students to develop practical communication skills for everyday English conversations. To this end the course will focus on building up confidence in English abilities through scaffolded listening and speaking activities. Students will also learn about American and British customs and culture in order to introduce a more international outlook.		
授業概要	<p>【担当者の実務経験：日本の文化になじみのない英会話教師をサポートしてきた職務経験を活用し、コミュニケーションをとる中で日本と外国の文化的なギャップへの実際の経験に基づく対処法を身につけます。】</p> <p>The course will review speaking activities familiar to the students such as introductions, family life and hobbies before introducing more challenging communication activities such as asking for information, telling a story and discussing problems.</p>		
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>① Orientation. Introduction and ice breaker activities.</li> <li>② Class album. Simple information exchange. Polite and impolite questions.</li> <li>③ Favorite photos. Describing family and friends. Asking follow up questions</li> <li>④ Personal goals. Describing future goals. Asking for advice.</li> <li>⑤ Believe it or not. Telling a story. Reacting with interest.</li> <li>⑥ Where I grew up. Using the past tense and `used to` to talk about childhoods.</li> <li>⑦ Bargain shopper. Shopping expressions and bargaining for goods.</li> <li>⑧ Review and speaking mid term assessment.</li> <li>⑨ The perfect gift. Japanese, American and UK gift giving customs.</li> <li>⑩ Party planner. Holidays in Japan, the US and the UK. Invitations.</li> <li>⑪ Music profile. Likes, dislikes and genres of music. Reported speech.</li> <li>⑫ Style makeover. Describing appearance and clothing. Giving advice.</li> <li>⑬ Honesty. Telling stories. Asking hypothetical questions.</li> <li>⑭ Making things better. School problems. Using `too many` and `(not) enough`.</li> <li>⑮ Review and speaking assessment.</li> <li>⑯ End of term examination.</li> </ul>		
予復習等	<p>【予習】 Weekly vocabulary lists.</p> <p>【復習】 Mid term and end of term speaking assessments.</p>		
評価方法	Mid term speaking assessment 20% End of term speaking assessment 20% Participation 10% End of term examination 50%.		
履修条件			
教科書	Active Skills for Communication Book 1. HEINLE CENGAGE learning. Sandy, Kelly.		
参考書			

科目名	英会話BII	単位数	1
	English Conversation BII	必選区分	選択
開講学科	英語英文学科（1年後期）	科目区分	演習
担当者	杉浦 エレナ	教員区分	非常勤講師
授業目的 到達目標	The objectives of this course are for students to further develop practical communication skills for everyday English conversations. The course will build on foundation speaking and listening skills learned in the first semester. Students will also learn more about American and British customs and culture and be encouraged to ask more questions about their interests in other countries.		
授業概要	【担当者の実務経験：日本の文化になじみのない英会話教師をサポートしてきた職務経験を活用し、コミュニケーションをとる中で日本と外国の文化的なギャップへの実際の経験に基づく対処法を身につけます。】 The students should by now be able to speak about familiar topics and the second semester course will expect students to give longer answers, be able to keep a conversation going and show enthusiastic listening skills. The course will focus on building on discussion skills and giving and reacting to opinions.		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>① Orientation. Review and icebreaker activities.</li> <li>② Class Facebook. Making small talk. Backchanneling.</li> <li>③ Personal motto. English proverbs. Expressing opinions.</li> <li>④ Tall tales. Tell short stories with sequencers. Refer back to events in a story.</li> <li>⑤ Keepsakes. Show and tell. Using past tense and present perfect tense.</li> <li>⑥ Speaking assessment 1, keepsakes individual presentation.</li> <li>⑦ Team spirit. Making suggestions. Agreeing and disagreeing.</li> <li>⑧ Hot spots. Making recommendations. Responding to suggestions.</li> <li>⑨ Class cookbook. Describing foods and giving cooking instructions.</li> <li>⑩ Business venture. Brainstorm and describe a new business. Present ideas.</li> <li>⑪ Job interview. Describing job requirements. Interview/ee role plays.</li> <li>⑫ TV preview. Create and act out a dramatic scene.</li> <li>⑬ Public opinion. Create and discuss dilemmas and hypothetical situations.</li> <li>⑭ Mini debate. Plan and defend an argument. Hold mini debates.</li> <li>⑮ Review. Speaking assessment 2.</li> <li>⑯ End of term examination.</li> </ol>		
予復習等	【予習】 Weekly vocabulary lists. 【復習】 Speaking assessment 1 and 2.		
評価方法	Week 5 speaking assessment 1, 20%. Week 15 speaking assessment 2, 20%. Participation, 10% End of term examination, 50%.		
履修条件			
教科書	Active Skills for Communication Book 2. HEINLE CENGAGE learning. Sandy, Kelly.		
参考書			

科目名	英会話AIII	単位数	1
	English Conversation AIII	必選区分	必修
開講学科	英語英文学科（2年前期）	科目区分	演習
担当者	コットン ランダル	教員区分	学内教員
授業目的 到達目標	The goal of this class is to help students become better at speaking English naturally. Increasing knowledge of vocabulary and grammar as it is used in spoken English is necessary for improving overall English ability, but in order to make use of that knowledge, regular speaking practice is necessary. In this class, students will increase both their knowledge of English and their ability to use it in conversation.		
授業概要	Students will increase their ability to use English through weekly conversation practice in pairs and small groups. Students will continue to review and practice conversation skills that they learned in English Conversation AI & II. At all times, the focus of the course will be on speaking, so students are expected to come to class each week ready to communicate in English with their teacher and classmates in English.		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>① Course orientation / First year review</li> <li>② Unit 1: What kind of person are you?</li> <li>③ Unit 1: How have you changed?</li> <li>④ Unit 2: Getting around</li> <li>⑤ Unit 2: Indirect questions</li> <li>⑥ Quiz / Unit 4: Unusual experiences</li> <li>⑦ Unit 4: Your best dish</li> <li>⑧ Speaking Test #1</li> <li>⑨ Unit 5: Vacation plans</li> <li>⑩ Unit 5: Travel advice</li> <li>⑪ Unit 6: Household chores</li> <li>⑫ Unit 6: Making requests</li> <li>⑬ Unit 8: Celebrations</li> <li>⑭ Unit 8: Marriage customs</li> <li>⑮ Quiz / Review</li> <li>⑯ Speaking Test #2</li> </ol>		
予復習等	【予習】 Study the textbook before coming to class each week. 【復習】 Review the lessons to better remember the material covered in class.		
評価方法	Participation (20%); Vocabulary quizzes & homework (30%); Speaking tests (50%)		
履修条件	「英会話AII」を受講をすること。		
教科書	Interchange 2 (5E). Jack C. Richards, Jonathan Hull, and Susan Proctor. Cambridge.2017.		
参考書			

科目名	英会話AIV	単位数	1
	English Conversation AIV	必選区分	必修
開講学科	英語英文学科（2年後期）	科目区分	演習
担当者	コットン ランダル	教員区分	学内教員
授業目的 到達目標	The goal of this class is to help students become better at speaking English naturally. Increasing knowledge of vocabulary and grammar as it is used in spoken English is necessary for improving overall English ability, but in order to make use of that knowledge, regular speaking practice is necessary. In this class, students will increase both their knowledge of English and their ability to use it in conversation.		
授業概要	Students will increase their ability to use English through weekly conversation practice in pairs and small groups. Students will continue to review and practice conversation skills that they learned in English Conversation AI & II. At all times, the focus of the course will be on speaking, so students are expected to come to class each week ready to communicate in English with their teacher and classmates in English.		
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>① First semester review</li> <li>② Unit 10: Expressing preferences</li> <li>③ Unit 10: Finding the right job</li> <li>④ Unit 11: Remarkable places</li> <li>⑤ Unit 11: Guess the country</li> <li>⑥ Quiz / Unit 12: Unexpected happenings</li> <li>⑦ Unit 12: What would you do?</li> <li>⑧ Speaking Test #3</li> <li>⑨ Unit 13: Favorite actors</li> <li>⑩ Unit 13: Favorite movies</li> <li>⑪ Unit 15: I Need Your Advice</li> <li>⑫ Unit 15: What would you have done?</li> <li>⑬ Unit 16: Making excuses</li> <li>⑭ Unit 16: What's Your Reason?</li> <li>⑮ Quiz / Review</li> <li>⑯ Speaking Test #4</li> </ul>		
予復習等	【予習】 Study the textbook before coming to class each week. 【復習】 Review the lessons to better remember the material covered in class.		
評価方法	Participation (20%); Vocabulary quizzes & homework (30%); Speaking tests (50%)		
履修条件	「英会話AIII」を受講をすること。		
教科書	Interchange 2 (5E). Jack C. Richards, Jonathan Hull, and Susan Proctor. Cambridge.2017.		
参考書			

科目名	英会話BIII	単位数	1
	English Conversation BIII	必選区分	選択
開講学科	英語英文学科（2年前期）	科目区分	演習
担当者	杉浦 エレナ	教員区分	非常勤講師
授業目的 到達目標	The objective of this course is to introduce critical thinking and encourage students to express opinions about real-world topics.		
授業概要	【担当者の実務経験：日本の文化になじみのない英会話教師をサポートしてきた職務経験を活用し、コミュニケーションをとる中で日本と外国の文化的なギャップへの実際の経験に基づく対処法を身につけます。】 In this course students will have the opportunity to listen to authentic recordings. To aid understanding, listening task vocabulary will be pre-taught and the same vocabulary used in speaking activities designed for pair, group and class work. Real world topics will include: skills needed for a variety of jobs, successful study habits and negotiating for goods.		
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>① Orientation. Introduction and ice breaker activities.</li> <li>② Work: Listening 1. Make and confirm predictions.</li> <li>③ Work: listening 2. Compare and contrast ideas.</li> <li>④ Work: Speaking. Answer questions about jobs, interests and skills.</li> <li>⑤ Student Life: Listening 1. Learn to make inferences.</li> <li>⑥ Student Life: Listening 2. Listen to and discuss good and bad study habits.</li> <li>⑦ Student Life: Speaking. Make a class survey and report the results.</li> <li>⑧ Review. Mid term speaking assessment.</li> <li>⑨ Money: Listening 1. Learn about the history of money.</li> <li>⑩ Money: Listening 2. Listen to and discuss the City Barter Network.</li> <li>⑪ Money: Speaking. Discuss freecycling and negotiate to exchange unwanted items.</li> <li>⑫ Etiquette: Listening 1. Introducing the topic of good and bad manners.</li> <li>⑬ Etiquette: Listening 2. Discussing why there is a lack of good manners.</li> <li>⑭ Etiquette: Speaking. Discussing etiquette in different situations.</li> <li>⑮ Review. End of term speaking assessment.</li> <li>⑯ End of term examination.</li> </ul>		
予復習等	【予習】 Weekly vocabulary lists. 【復習】 Mid term and end of term review speaking assessments.		
評価方法	Mid term speaking assessment, 20%. End of term speaking assessment, 20%. Participation, 10% End of term examination, 50%.		
履修条件			
教科書	North Star 2. Listening and speaking. Pearson. Mills, Frazier (fourth edition).		
参考書			

科目名	英会話BIV	単位数	1
	English Conversation BIV	必選区分	選択
開講学科	英語英文学科（2年後期）	科目区分	演習
担当者	杉浦 エレナ	教員区分	非常勤講師
授業目的 到達目標	The objective of this course is to further develop critical thinking skills and language to express opinions about real-world topics.		
授業概要	<p>【担当者の実務経験：日本の文化になじみのない英会話教師をサポートしてきた職務経験を活用し、コミュニケーションをとる中で日本と外国の文化的なギャップへの実際の経験に基づく対処法を身につけます。】</p> <p>In this course students will have the opportunity to listen to authentic recordings. To aid understanding, listening task vocabulary will be pre-taught and the same vocabulary used in speaking activities designed for pair, group and class work. Real world topics will include: increasing obesity levels, examples of everyday heroism and endangered languages.</p>		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>① Orientation. Review of semester one skills such as making inferences.</li> <li>② Food: Listening 1. Healthy and unhealthy eating habits.</li> <li>③ Food: Listening 2. Government policies to reduce obesity.</li> <li>④ Food: Speaking. Debate about healthy eating and government control.</li> <li>⑤ Speaking Assessment 1. Pair presentation on obesity</li> <li>⑥ Heroes: Listening 1. Examples of heroes.</li> <li>⑦ Heroes: Listening 2. Altruism.</li> <li>⑧ Heroes: Speaking. Presentation about someone you admire.</li> <li>⑨ Health: Listening 1. Diabetes. Video games.</li> <li>⑩ Health: Listening 2. Technology in the classroom.</li> <li>⑪ Health: Speaking. Advice about health problems.</li> <li>⑫ Endangered Cultures: Listening 1. Disappearing languages.</li> <li>⑬ Endangered Cultures: Listening 2. Saving languages and cultures.</li> <li>⑭ Endangered Cultures: Speaking. Discuss how English threatens endangered languages.</li> <li>⑮ End of term review. Speaking assessment 2.</li> <li>⑯ End of term examination.</li> </ol>		
予復習等	<p>【予習】 Weekly vocabulary lists.</p> <p>【復習】 Speaking assesment 1 and 2.</p>		
評価方法	Week 5 speaking assessment 1, 20%. End of term speaking assessment 2, 20%. Participation, 10%. End of term examination, 50%.		
履修条件			
教科書	North Star 2. Listening and speaking. Pearson. Mills, Frazier (fourth edition).		
参考書			

科目名	海外英語演習	単位数	2
	Study Abroad Program	必選区分	選択
開講学科	英語英文学科（1・2年全期）	科目区分	演習
担当者	コットン ランダル	教員区分	学内教員
授業目的 到達目標	<p>学生は、長年英語を、読む・書く・聞く・話す、という4技能に習熟するために勉強してきている。本授業では、その4技能に対し、実際に英語圏でナマの英語や文化に触れる体験をして刺激を得、今後の自己の生き方と世界観の育成に資することを目的とする。英語圏の大学または語学学校等で行われる一連の授業活動や、名所等の見学、ホームステイに積極的に参加し、コミュニケーション力を向上させ、国際化する地域社会や世界で、自律・協調して生きていくための基本的力を身につけることが到達目標である。</p>		
授業概要	<p>英語圏の大学または語学学校等で2月から3月のうち2週間にわたって開講予定である。受講者で、所定の基準を満たした者は、本科目2単位を取得することができる。授業では、実用英語を中心に、現地の歴史や文化を学ぶ。見学として、現地の名所・旧跡や行楽地を訪れる。また、ホームステイも体験する。英語の講義を理解することができるようになり、日本や岐阜の文化について紹介するなど、コミュニケーションを取りながら活動するので、受講生には好評を博している。なお、以下の授業計画は、令和元年度の実施例である。本年度実施する場合も、これに準じた計画となる予定である。</p>		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>① イントロダクション・夏季海外英語演習の目的と意義</li> <li>② 業者を交えてのオリエンテーション・研修の内容・海外旅行の具体的手続き</li> <li>③ 現地の様子・実際の注意など</li> <li>④ カリフォルニア州立大学ロングビーチ校による具体的スケジュール表の配布・説明</li> <li>⑤ 以下、現地校におけるスケジュールに従い諸活動を行う</li> <li>⑥ 英語クラス（1）</li> <li>⑦ 英語クラス（2）</li> <li>⑧ 大学内の日本語クラスに合流・英語クラス（3）</li> <li>⑨ 英語クラス（4）</li> <li>⑩ 現地学生へのインタビュー・英語クラス（5）</li> <li>⑪ 現地の学校を訪問。英語クラス（6）</li> <li>⑫ 英語クラス（7）</li> <li>⑬ 英語クラス（8）</li> <li>⑭ デイズニューランドなど見学</li> <li>⑮ まとめ・試験・フェアウェル</li> <li>⑯ 課題レポート</li> </ol>		
予復習等	<p>【予習】 次回のオリエンテーションや授業で行う範囲を予め学習しておくこと。</p> <p>【復習】 今回のオリエンテーションや授業で行ったことのノートなどに目を通し、課題を行うこと。</p>		
評価方法	現地校の評価基準に準拠する。		
履修条件	初回のオリエンテーションで指示する。		
教科書	現地校の指定教科書。		
参考書	オリエンテーションで指示する。		

科目名	ビジネス・イングリッシュ Business English	単位数	1
		必選区分	選択
開講学科	英語英文学科（2年前期）	科目区分	演習
担当者	佐々木 真帆美	教員区分	非常勤講師
授業目的 到達目標	本講義の目的は、学生が卒業して就職してから、ビジネスの場でつかいこなすことができる英語力を身につけることを目標とする。ビジネスの場で使用されるボキャブラリの習得、会話の練習、英語のメール・手紙等の書き方に関する演習、日米ビジネス文化における理解等を通して総合的な英語力の向上を目指す。また、様々なシチュエーションにおける英語の対話を聞き読解することで、生きた英語を習得することを目指す。		
授業概要	【担当者の実務経験：一般企業にて貿易業務に従事した経験あり。】国際化が進む現代社会において、ビジネスの場で英語を使用する機会が多くなってきている。本授業では、様々なビジネスのシチュエーションにおいて使用されるボキャブラリや英語表現、ビジネス文書等の書き方、日米ビジネス文化等を学ぶことによって、就職後英語で業務にあたることが求められる際にスムーズに仕事ができるよう、基本的なビジネス英語の習得を目的とする。ほかに、ビジネス用語が頻出するとされるTOEICの練習にも随時取り組む。通常の予習・復習に加え、課題を3回提出すること。課題は、授業を通して学んだビジネス文書の形式を使って実際に文書を書いてみたり、企業ホームページから必要な情報を読み取るものとなるため、より実践的な英語力を習得する機会と考え、積極的に取り組むこと。		
授業計画	① ガイダンス ② Chapter 1、2 ③ Chapter 3、4 ④ Chapter 5、6 ⑤ TOEIC練習問題（1） ⑥ Chapter 7、8 ⑦ Chapter 9、10 ⑧ Chapter 11、12 ⑨ TOEIC練習問題（2） ⑩ Chapter 13、14 ⑪ Chapter 15、16 ⑫ Chapter 17、18 ⑬ Chapter 19、20 ⑭ Chapter 21、22 ⑮ Chapter 23、24 ⑯ 定期試験		
予復習等	【予習】 次回の授業範囲を予習し、問題に解答しておくこと。 【復習】 小テストに備え、授業内容を復習しておくこと。その他に課題を3回課す。		
評価方法	出席状況・受講態度・小テスト20%、課題30%、定期試験50%		
履修条件	なし		
教科書	『Getting Global!』／著：辻本智子／出版：金星堂		
参考書	なし。随時プリントを配布する。		

科目名	エクステンシブ・リーディング Extensive Reading	単位数	1
		必選区分	選択
開講学科	英語英文学科（1年前期）	科目区分	演習
担当者	小島 ますみ	教員区分	学内教員
授業目的 到達目標	本講義の目的は、主に以下の6つである。1) 多読を通して簡単な英文に慣れ親しみ、速読の力を付ける。2) 物語を楽しみながら英文を読むことを習慣化する。3) 語彙や文法の運用力を高め、定着を図る。4) 読んだ本について発表することで、インプットの質を高めるとともに、アウトプットできる力につなげる。5) 現代日本の主な出来事や経済、文化、科学の最近の動向を扱った海外向けの英語ニュースを視聴し、リーディング力ばかりでなく、語彙やリスニング力を高める。6) 日本の最近の出来事について、英語で説明し、自分の考えを表現する力をつける。		
授業概要	本授業は、2部構成で行う。前半は、多読を中心とした活動を行う。まず20分の多読の時間を設けるので、図書館で多読図書を何冊か借りておくこと。次に、読んだ本についてTeamsに記録したり、発表を行ったりする。第5週目以降は、ビブリオバトルを行う。後半は、現代日本の主な出来事や経済、文化、科学の最近の動向を扱った海外向けの英語ニュースを視聴し、リーディング力、語彙力、リスニング力を養成する。日本の最近の出来事について、英語で説明し、自分の考えを表現するなど、アウトプットできる力につなげる。		
授業計画	① ガイダンス、Unit 1: Making Waves with a Magical Instrument 不屈のテルミン奏者 ② Unit 2: Backstage Tour with Augmented Reality Stars AR アイドルの裏側 ③ Unit 3: Drinking to Eat 現代人の食事―「飲む」おにぎり ④ Unit 4: Next Generation Mobility 次世代の移動手段 ⑤ Unit 5: Eco-friendly Fashion Statement 衣料品ロス―名前を変えて ⑥ Unit 6: Building a Bridge to Share a Son's Dream 日韓の架け橋になりたい ⑦ Unit 7: Taking Aim シュートの達人―スリーポイントおじいさん ⑧ Unit 8: Boccia Boom Revitalizing Japanese Companies 企業に広がるボッチャ競技 ⑨ Unit 9: Rising Profile 人気のインスター―「東北女子」 ⑩ Unit 10: All Blacks Cause City to Rethink Ink ラグビーがたぐりリスペクト ⑪ Unit 11: Man-made Threat to Japanese Deer 鹿を守れ！ プラゴみの脅威 ⑫ Unit 12: Home Appliance Maker Leads Comeback 家電メーカー―海外の巻き返しを図れ！ ⑬ Unit 13: Hospitals Breaking Down Language Barrier 広がる医療通訳 ⑭ Unit 14: A New View of Hokusai 知られざる北斎の魅力 ⑮ Unit 15: Lighting Up the Nightlife 夜のエンター―歴史ツアー ⑯ 定期試験		
予復習等	【予習】 指定されたテキストの授業範囲の問題を解いておくこと 【復習】 授業後に、テキストの聞き取り問題、読解問題を復習すること		
評価方法	出席状況・授業態度30%、多読課題30%、期末試験40%		
履修条件	なし		
教科書	『映像で学ぶ NHK英語ニュースが伝える日本4』金星堂		
参考書	なし		

科目名	英語情報教育演習	単位数	1
	English and Information Processing II	必選区分	選択
開講学科	英語英文学科（1年後期）	科目区分	演習
担当者	小島 ますみ	教員区分	学内教員
授業目的 到達目標	本演習では、ワープロソフト（MS-Word）と表計算ソフト（MS-Excel）の基本操作に習熟し、それらの効率的な利用法を学ぶとともに、コンピュータ活用能力全般の向上を目的とする。具体的には、日本情報処理検定協会の実施する情報処理技能検定試験表計算部門2級、日本語ワープロ検定2級に合格することを目標とする。可能であれば、準1級や1級にも合格できる力をつける。		
授業概要	【担当者の実務経験：国家公務員として、経理や人事業務の経験あり】 授業計画の「MS-Excelを用いたデータ処理演習1」では、情報処理技能検定試験表計算部門2級合格に必要な技能を学ぶ。「同演習2」では、同準1級や1級合格に必要な技能を学ぶ。「情報処理技能検定（表計算）模擬問題」1と2では、2級の演習問題を行い、3～5ではそれぞれの受検級に合った演習を行う。同様に、「Ms-Wordを用いた文書作成演習1」では、日本語ワープロ検定2級合格に必要な技能を学ぶ。「同演習2」では、同準1級や1級合格に必要な技能を学ぶ。「日本語ワープロ検定模擬問題」1と2では、2級の演習問題を行い、3と4ではそれぞれの受検級に合った演習を行う。		
授業計画	① ガイダンス ② MS-Excelを用いたデータ処理演習 1 ③ 情報処理技能検定（表計算）模擬問題 1 ④ 情報処理技能検定（表計算）模擬問題 2 ⑤ Ms-Excelを用いたデータ処理演習 2 ⑥ 情報処理技能検定（表計算）模擬問題 3 ⑦ 情報処理技能検定（表計算）模擬問題 4 ⑧ 情報処理技能検定（表計算）模擬問題 5 ⑨ 表計算検定試験 ⑩ Ms-Wordを用いた文書作成演習 1 ⑪ 日本語ワープロ検定模擬問題 1 ⑫ 日本語ワープロ検定模擬問題 2 ⑬ Ms-Wordを用いた文書作成演習 2 ⑭ 日本語ワープロ検定模擬問題 3 ⑮ 日本語ワープロ検定模擬問題 4 ⑯ 日本語ワープロ検定試験		
予復習等	授業で行った演習問題を完成させる。課題を完成させ、提出する。		
評価方法	出席状況・授業態度 20%、課題 20%、検定試験の結果60%		
履修条件	なし		
教科書	『日本語ワープロ検定試験模擬問題集 2級・準2級編』『情報処理技能検定試験 表計算模擬問題集 2級編』日本情報処理検定協会		
参考書	なし		

科目名	英語論文演習	単位数	1
	Academic Writing	必選区分	選択
開講学科	英語英文学科（2年前期）	科目区分	演習
担当者	大澤 聡子	教員区分	学内教員
授業目的 到達目標	学術論文には書き方に一定の形式があり、その形式についての知識は論文を読む場合にも書く場合にも必要不可欠である。本授業は、英語論文を作成するにあたり、最低限必要な基本知識を修得することを目的とする。書式、論文の構成、文献資料の扱い方、引用の仕方、出典の示し方に加え、論文にふさわしい英語表現を理解し、基本事項を満たしたエッセイを書くことを目標とする。		
授業概要	論文とは、ある問題について調査し、検討を重ね、導き出した結論について文章化し、自分の主張を論理的かつ客観的に伝えるものであるが、その書き方には一定の決まりがある。英語論文の決まり事は「書く」場合のみならず、「読む」場合にも役立つ知識である。本授業では論文の書式、構成、文献資料の扱い方、引用の仕方、出典の示し方などの基本事項を多くの例題をおして学修する。また、日常会話とは異なり、正確な表現や論文としてふさわしい英語表現が求められるため、文法の復習、よくある誤り、英語らしい表現について学修する。最後に基本事項を満たした短いエッセイを書く。		
授業計画	① ガイダンス ② アカデミック・ライティングの特色（Ch.1） ③ アカデミック・スタイル（Ch.1） ④ 英語で書くために（Ch.1） ⑤ パラグラフとは（Ch.2） ⑥ パラグラフの構造（Ch.2） ⑦ Review Exercises（Ch.2） ⑧ エッセイの構造（Ch.3） ⑨ エッセイの構造（Ch.6） ⑩ エッセイの骨組みを作成する（Ch.4） ⑪ 文献資料について（Ch.5） ⑫ 引用、出典について（Ch.5） ⑬ エッセイの作成（1） ⑭ エッセイの作成（2） ⑮ 完成に向けて（Ch.7） ⑯ 定期試験		
予復習等	【予習】指定されたテキストの授業範囲を読み、疑問点をまとめておく。 【復習】重要事項をまとめる。		
評価方法	出席状況・授業態度 20%、課題：30%、定期試験 50%		
履修条件	なし		
教科書	『英語論文の書き方 入門』／著：迫桂、徳永聡子／出版：慶応義塾大学出版会		
参考書	授業で指示する。		

科目名	インターネット・イングリッシュ Internet English	単位数	1
		必選区分	選択
開講学科	英語英文学科（2年後期）	科目区分	演習
担当者	小島 ますみ	教員区分	学内教員
授業目的 到達目標	インターネットの利用を通して、メディア・リテラシーの基礎力を養成することを目的とする。到達目標は、以下である。1) インターネットを通して生きた英語に触れ、聴解や読解でできる力を身に付ける、2) 現代的な社会問題について必要な情報を収集し、得られた情報を適切に整理・分析できる、3) 2で整理・分析した情報をもとに、考察したことを英語で効果的に発表することができる。		
授業概要	料理、音楽、映画などのテーマについて、インターネット上のテキストや動画を英語で理解する。与えられたテーマに沿って必要な情報をインターネット上で収集し、まとめたことや考えたことに基づき、ペアや小グループ内でディスカッションやプレゼンテーションを行う。また、機械翻訳の効率的な利用方法を学び、英文ライティングに役立てる。受講者には、能動的な参加が求められる。		
授業計画	① ガイダンス、Search Engine の活用方法 ② Cooking ③ Famous People ④ Music ⑤ World Heritage ⑥ Movies 1 ⑦ Movies 2 ⑧ Web news ⑨ Machine translation ⑩ Global Warming ⑪ Internet and privacy ⑫ Food Safety ⑬ Social Media ⑭ COVID-19 Pandemic ⑮ Capitalism ⑯ Review		
予復習等	【予習】プレゼンテーション課題（Cooking, Music, Movie）の準備 【復習】授業で扱った教材の復習		
評価方法	出席状況・授業態度 40%、課題 60%		
履修条件	なし		
教科書	適宜プリントを配布する		
参考書	なし		

科目名	検定英語演習 I Skills for English Proficiency Exams I	単位数	1
		必選区分	選択
開講学科	英語英文学科（1年前期）	科目区分	演習
担当者	佐々木 真帆美	教員区分	非常勤講師
授業目的 到達目標	本講義では、学生が英検で出題される問題と同じ形式の問題を解くことによって、準1級に合格できる程度の英語力を身につけることを目標とする。英検の筆記試験の問題を解くことを通して、より高度なボキャブラリを習得するとともに英語の「読む力」の向上、授業内でリスニング問題に取り組むことによって「聞く力」の向上、また、ライティング課題に取り組むことによって「書く力」「話す力」の向上を目指す。		
授業概要	総合的な英語力を向上させる方法はいろいろあるが、英語の資格・検定試験において、具体的な目標を設定して勉強することも1つの方法となる。本授業では、「実用英語技能検定（通称：英検）」で出題される問題と同形式の問題を解くことを通して、学生自身の新たな目標を設定させ、総合的な英語力を向上させることを目標とする。英検で使用されるボキャブラリは、日常会話では頻出しにくいものもあるので、より高度なボキャブラリを学習することができる。授業内では、文法問題、読解問題を通して今までに習得した文法事項の確認をし、2回に1度授業内実施するリスニング問題を通して英語を聞く力を養う。通常の予習・復習に加え、2回ライティング課題を提出すること。ライティング課題を、今までに習得したボキャブラリ、文法を使う機会として活用するとともに、自分の考えを英語で表現する機会と考え、積極的に取り組むこと。		
授業計画	① ガイダンス ② Chapter 1 ③ Chapter 2 ④ Chapter 3 ⑤ Chapter 4 ⑥ Chapter 5 ⑦ Chapter 6 ⑧ Chapter 7 ⑨ Chapter 8 ⑩ Chapter 9 ⑪ Chapter 10 ⑫ Chapter 11 ⑬ Chapter 12 ⑭ Chapter 13 ⑮ Chapter 14 ⑯ 定期試験		
予復習等	【予習】次回の授業範囲を予習し、問題に解答しておくこと。 【復習】次回の小テストに備え、授業内容を復習しておくこと。その他に2回課題を課す。		
評価方法	出席状況・受講態度・小テスト30%、課題20%、定期試験50%		
履修条件	なし		
教科書	『大学生の英検対策総合演習（2級・準1級編）』／著：John Josephほか／出版：金星堂		
参考書	なし		

科目名	検定英語演習Ⅱ	単位数	1
	Skills for English Proficiency Exams Ⅱ	必選区分	選択
開講学科	英語英文学科（1年後期）	科目区分	演習
担当者	小島 ますみ	教員区分	学内教員
授業目的 到達目標	TOEIC 550点突破に必要な英語力や攻略法を身につけることを目的とする。リスニングでは、ナチュラルスピードの会話に慣れ、必要な情報を聞き取り、TOEICリスニング・パートで280点達成を目指す。リーディングでは、テキストから必要な情報をすばやく読み取る力をつけるとともに、出題頻度の高い語句・表現や、基本的な文法もしっかりと身につけ、TOEICリーディング・パートで270点達成を目標とする。		
授業概要	【担当者の 実務経験： 国家公務員として、経理や人事業務や通訳・翻訳の経験あり】 授業では、毎日常的なテーマを基にリスニング、リーディングの演習を行い、基礎的な英語力の向上を図るとともに、TOEIC各パートの攻略法を身につける。授業は予習を前提として進めるため、受講生はテキストや配布プリントの指定された箇所を予習の上で授業に臨むこと。その他、英語音声学の理論に基づいた発音練習を行う。英語と日本語の違いを理解し、英語の文強勢やイントネーションにも重点を置いて、発話練習を行う。		
授業計画	① Unit 1: Restaurant ② Unit 2: Entertainment ③ Unit 3: Business ④ Unit 4: Office ⑤ Unit 5: Telephone ⑥ Unit 6: Letter & E-mail ⑦ Unit 7: Health ⑧ 中間試験 ⑨ Unit 8: Bank & Post Office ⑩ Unit 9: New Products ⑪ Unit 10: Travel 1 ⑫ Unit 11: Travel 2 ⑬ Unit 12: Job Applications ⑭ Unit 13: Shopping ⑮ Unit 14: Education ⑯ 期末試験		
予復習等	【予習】各ユニットや配布プリントのリーディングや語彙問題 【復習】テキストや配布プリント全般。中間テストと期末テストを行う。		
評価方法	出席状況・授業態度 30%、中間試験25%、 期末試験25%、TOEIC(College TOEICまたは公開TOEIC)のスコア 20%		
履修条件	なし		
教科書	BEST PRACTICE FOR THE TOEIC LISTENING AND READING TEST (SEIBIDO)		
参考書	TOEICテスト公式問題集 新形式問題対応編		

科目名	インターンシップ	単位数	1
	Internship	必選区分	選択
開講学科	英語英文学科（1年全期）	科目区分	集中
担当者	鈴木 辰一	教員区分	学内教員
授業目的 到達目標	インターンシップ先での就業体験をとおして、将来具体的に企業で働くことについて考え、職業意識の高揚を図る。また企業研修の経験をおし、社会で必要とされる能力について考え、研修後の学習意欲の向上に結びつける。研修中は研修日誌を記録し、修了後は最終の研修レポートを作成し、研修を通して学んだことを報告する。		
授業概要	岐阜グランドホテルで、一定期間企業研修を受ける。研修を受けることによって社会に出るからの具体的な就業イメージ描くとともに、希望する職業とのマッチングなど、就職することへの意識を高めることを目的とする。事前研修では、インターンシップ派遣学生としての心構えを身につけ、研修後は研修レポートを作成する。なお、本科目に合格すれば1単位を修得することになるが、この単位は卒業単位に算入されないので注意すること。		
授業計画	① インターンシップ事前指導（1） ② インターンシップ事前指導（2） ③ 研修先での事前指導 ④ 企業における研修（1） ⑤ 企業における研修（2） ⑥ 企業における研修（3） ⑦ 企業における研修（4） ⑧ 企業における研修（5） ⑨ 研修レポートの作成 ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯		
予復習等	【予習】担当教員や研修先と連絡をとり、研修に備える。 【復習】研修のレポート、ノートを毎回記録すること。		
評価方法	インターンシップ事前指導での取り組み、研修レポートを総合的に判断する。		
履修条件	進路として就職を希望していることが望ましい。		
教科書	なし		
参考書	なし		